

第五十九回
帝國議會
貴族院

特別會計ニ於ケル營繕費ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和六年二月二十八日(土曜日)午前十時
十五分開會

○委員長(侯爵西郷從德君) 只今カラ委員
會ヲ開會イタシマス

○高橋塚也君 政府委員ニ御尋ヲシマス
ガ、私ガ前回特別會計カラ一般會計ニ移ス、
繰入レルト云フコトニナレバドウ云フ便宜
ガアルカト云フコトヲ御尋シマシタガ、ソ
レニ付テ詳シク御答辯ハゴザイマシタガ、
衆議院ノ此法案ニ對スル委員會ニ於テ政府
委員ハ色々親切ニ御答辯ニナッテ居ルヤウデ
ゴザイマス、其中ニモ特別會計カラ一般會
計へ繰入レルト云フコトニスルト斯クノ
ナ利益ガアル、而モ其利益ヲ擧ゲテ七ヶ條
ニ割ッテ御答ニナッテ居ルヤウデゴザイマス
ガ、前回私ガ御尋シタ時ニハ是等ノコトハ
チットモ御話ガナカッタ、私バカリデナイ、
大方、各委員モ皆マダ御聽キニナッテ居ナイ
ノダラウト思ヒマス、御説明ガ最初ニゴザ
イマシタノハ七法案ニ對シテ極メテ簡單ナ
御説明デアッテ、何ダカ心持ノセイカ、衆議
院デハ非常ニ綿密ニ簡條マデ分ケテ詳シク
御答辯ニモナリ説明ニモナッテ居ル、貴族院
ノ人ハ頭ガ良イカラソレ程ニ詳シク言ウテ

ヤラヌデモ分ッテ居ルダラウ、斯ウ云フヤウ
ナ御考カモ知ラナイガ、矢張り貴族院議員
モ衆議院議員ト同ジヤウナ頭ヲ持ッテ居ル
カモ知レマセヌカラ、親切ニ矢張り説明ヲ
シテ御實ヒシタ方ガ宜クハナイカト思ヒマ
ス、此七ヶ條ノ點ニ付テハ尙ホ伺ヒマスガ、
是ハ七ヶ條ノ利益ト云フモノヲ此委員全體
ニ御説明ニナッテバ色々質問ガ起ッテ來
ナイデ、餘計ナ時間ヲ費サナイデ宜カラウ
カト思ヒマスカラ、其點ヲ一ツ簡明ニ御話
ニナッテ戴イタラ宜カラウ、ソレカラ同ジク
衆議院ノ方デ、質問ニ對スル御答辯ニ、東
京府神奈川縣ト云フ、確カサウデアッタカ
ト思ヒマスガ、ソレニ對シテハ特別會計ト
云フモノカラ繰入レテ、是ダケノ便宜ガア
ル、是カラ各府縣ノ營繕ニ對シテ之ヲ皆押
シ及ボシテ行クト仰シヤッタヤウニチヨット
聽イテ居リマスガ、果シテサウデゴザイマ
スカ、若シサウデアルトスレバ、之ヲ各府縣
ニ及ボスト云フノハ、ドウ云フ順序デヤッテ
行クノデスカ、大藏省ニアル管財局ノ何カ
出張所トカ何トカ云フモノガ、特別ナ機關
ガ地方ニ皆アルノデスカ、ソレハ府縣ニ委
任スルト云フヤウナコトニデモナルノデス

カ、之ヲチヨット伺ヒタイデス
○政府委員(小川郷太郎君) 高橋サンカラ
只今御話ガアリマシタガ、ソレニ付テチヨッ
ト私御挨拶シテ置キマス、衆議院デ話シテ、
コチラニ話サヌト云フ御話デゴザイマシタ
ケレドモ、別ニ殊更コチラニ話サヌト云フ
ノデモ何デモアリマセヌ、衆議院デサウ云フ
質問ガアリマシタモノデスカラ、其質問ニ
對シテ御答シタノデアリマス、即チ此營繕
統一ヲスル必要ハ何處ニアルカト、斯ウ云
フヤウナ御質問ガアリマシタカラ、ソレニ
對シテ御答ヲシタノデアリマス、只今高橋
サンノ御話ハ又同様ノ御質問ト考ヘマシ
テ、ソレニ對シマシテ、チヨット御答ヲシテ
置キマス、營繕統一ハドウ云フ理由デア
カト申上ゲマスレバ、此營繕統一ヲスル爲
ニ斯クノノ利益ガアルカラト考ヘルノデ
アリマス、ソレヲ七ツ程簡條ヲ擧ゲテ申シ
テ居、タノデアリマス、第一ハ建物ノ規模程
度ヲ一定シテ、建物ノ種類階級ニ應ジ、適
當ナモノトスルヤウニシテ、以テ各廳ノ間
ニ於ケル不權衡ヲ改メ得ラレル、各廳デ不
鈞合ガナイヤウニシタイト云フヤウナコト
ガ一ツノ利益デアルト申シテ居ルノデアリ

マス、ソレカラ第二ハ營繕ニ關スル經費、
ソレハ事務費ヤ工事費ヲ含メテ申上ゲルノ
デアリマスガ、サウ云フ經費ニ付キマシテ
節約ガナシ得ラレル、營繕ヲ統一イタシマ
スルト云フト、サウ云フ無駄ヲ省キマシテ
節約ガ出來ル、是ガ一ツノ利益デアリマス、
第三ハ財政經濟上ノ事情ニ應ジマシテ、營
繕費ヲ調節スル場合ニ利便ガ多イト云フコ
トデアリマス、ソレカラ第四ハ、失業ヲ防
止スル爲ニ、事業ヲ調節スル場合ニ利便ノ
多イコトデアリマス、第五ハ契約ノ方式及
ビ工事監督ノ方針ヲ畫一ニシマシテ事務ヲ
簡捷ニシ、又當業者ニ對シテ廣ク公平ヲ維
持スルコトガ出來テ、工事ノ實績ヲ良好ナ
ラシムルト云フ利益ガアルト云フコトデア
リマス、ソレカラ第六ハ營繕管財局ニ於テ
ハ國有地ノ統轄事務ヲ司ル結果、土地ノ購
入ニ付キマシテ、又其他之ヲ選定スル上ニ
付キマシテ、非常ニ利便ガ多イト云フコト
デアリマス、ソレカラ第七ハ營繕ニ關スル
學術技能ノ研究練磨ニ資スルコトガ多イト
云フコトデアリマス、斯ウ云フヤウナ利益
ガアリマスカラ、營繕統一ヲシヤウト云フ
コトニナッテデアリマス、ソレデ營繕統一

カ、私ガ前回特別會計カラ一般會計ニ移ス、
繰入レルト云フコトニナレバドウ云フ便宜
ガアルカト云フコトヲ御尋シマシタガ、ソ
レニ付テ詳シク御答辯ハゴザイマシタガ、
衆議院ノ此法案ニ對スル委員會ニ於テ政府
委員ハ色々親切ニ御答辯ニナッテ居ルヤウデ
ゴザイマス、其中ニモ特別會計カラ一般會
計へ繰入レルト云フコトニスルト斯クノ
ナ利益ガアル、而モ其利益ヲ擧ゲテ七ヶ條
ニ割ッテ御答ニナッテ居ルヤウデゴザイマス
ガ、前回私ガ御尋シタ時ニハ是等ノコトハ
チットモ御話ガナカッタ、私バカリデナイ、
大方、各委員モ皆マダ御聽キニナッテ居ナイ
ノダラウト思ヒマス、御説明ガ最初ニゴザ
イマシタノハ七法案ニ對シテ極メテ簡單ナ
御説明デアッテ、何ダカ心持ノセイカ、衆議
院デハ非常ニ綿密ニ簡條マデ分ケテ詳シク
御答辯ニモナリ説明ニモナッテ居ル、貴族院
ノ人ハ頭ガ良イカラソレ程ニ詳シク言ウテ

カ、私ガ前回特別會計カラ一般會計ニ移ス、
繰入レルト云フコトニナレバドウ云フ便宜
ガアルカト云フコトヲ御尋シマシタガ、ソ
レニ付テ詳シク御答辯ハゴザイマシタガ、
衆議院ノ此法案ニ對スル委員會ニ於テ政府
委員ハ色々親切ニ御答辯ニナッテ居ルヤウデ
ゴザイマス、其中ニモ特別會計カラ一般會
計へ繰入レルト云フコトニスルト斯クノ
ナ利益ガアル、而モ其利益ヲ擧ゲテ七ヶ條
ニ割ッテ御答ニナッテ居ルヤウデゴザイマス
ガ、前回私ガ御尋シタ時ニハ是等ノコトハ
チットモ御話ガナカッタ、私バカリデナイ、
大方、各委員モ皆マダ御聽キニナッテ居ナイ
ノダラウト思ヒマス、御説明ガ最初ニゴザ
イマシタノハ七法案ニ對シテ極メテ簡單ナ
御説明デアッテ、何ダカ心持ノセイカ、衆議
院デハ非常ニ綿密ニ簡條マデ分ケテ詳シク
御答辯ニモナリ説明ニモナッテ居ル、貴族院
ノ人ハ頭ガ良イカラソレ程ニ詳シク言ウテ

カ、私ガ前回特別會計カラ一般會計ニ移ス、
繰入レルト云フコトニナレバドウ云フ便宜
ガアルカト云フコトヲ御尋シマシタガ、ソ
レニ付テ詳シク御答辯ハゴザイマシタガ、
衆議院ノ此法案ニ對スル委員會ニ於テ政府
委員ハ色々親切ニ御答辯ニナッテ居ルヤウデ
ゴザイマス、其中ニモ特別會計カラ一般會
計へ繰入レルト云フコトニスルト斯クノ
ナ利益ガアル、而モ其利益ヲ擧ゲテ七ヶ條
ニ割ッテ御答ニナッテ居ルヤウデゴザイマス
ガ、前回私ガ御尋シタ時ニハ是等ノコトハ
チットモ御話ガナカッタ、私バカリデナイ、
大方、各委員モ皆マダ御聽キニナッテ居ナイ
ノダラウト思ヒマス、御説明ガ最初ニゴザ
イマシタノハ七法案ニ對シテ極メテ簡單ナ
御説明デアッテ、何ダカ心持ノセイカ、衆議
院デハ非常ニ綿密ニ簡條マデ分ケテ詳シク
御答辯ニモナリ説明ニモナッテ居ル、貴族院
ノ人ハ頭ガ良イカラソレ程ニ詳シク言ウテ

第四部第七類 特別會計ニ於ケル營繕費ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和六年二月二十八日

ハ昨日モ申上ゲマシタヤウナ風ニ、特別會計ヲモ含メルト云フノガ三大原則ノ一ツデアリマスガ、モウ一ツハ從來、東京府、神奈川縣ニ於テ營繕統一ハシテ居、タノデアリマスガ、ソレヲ全體ノ各府縣ニ及ボスト云フコトガ一ツノ原則デアリマス、是ガ高橋サンノ第二ニ御尋ネニナッタコトデアルト考ヘマス、從來ト雖モ大藏省ニ關係シマシアハ、全國ニ互テ營繕ヲ統一シテ居ルノデアリマス、他ノ省ノコトニ關係シテハ、神奈川縣ト東京府タケデアリマシテ、其他ノ府縣ニ及ンデ居ナカタ、今回他ノ省ニ付キマシテモ、全國ニ互テ、全國總テノ府縣ニ互テ營繕ヲ統一シタイト云フ、斯ウ云フヤウナ原則ヲ決メタノデアリマス、サウシタナラバ各府縣ノ方ニ互テノ營繕ハドウ云フ風ニスルカ、出張所デモ設ケルノカト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、從來ト雖モ大藏省ニ於キマシテハ、全國ニ互テ居リマシテ、ソレデ各地方ノ稅務監督局及稅關、サウ云フヤウナ所デサウ云フコトヲ取扱フヤウニナリマス、現ニ出張所ハ横濱、神戸、門司ノ三箇所ニアリマス

○高橋也君 此第一ハ建物ノ規模程度ヲ一定スル、サウシテ建物ノ上カラ種類階級ニ應ジテ適當ナ拵ヘラシテ行クンダ、ソレ

故ニ各官廳間ニ於ケル所ノ不權衡ヲ改メテ行クコトガ出來ル、斯ウ云フ利益ガアル、建物ノ規模程度ヲ一定スルト云フノハ、事業ノ計畫、…「プラン」ガ一ツ出來テ居ル、此事業ハ特別會計デハナイ、普通會計デスル仕事デモ、仕事ハ仕事デ各方面デ皆違テ居ル、此決算ノ報告ヲ見マスルト、特別會計ヲヤッテ居ル所ノ各省ト云フモノハ非常ニ澤山アッテ、又仕事モ大キナモノデ、皆是等ハ特別ナ、仕事ヲ異ニシテ居ルノデアリカラ、ソレヲ一定スルノ、同ジヤウニスルト云フコトハ、ドウ云フヤウナ事柄ヲ同ジヤウニスルノデスカ、チョット私ニハ解ン兼ネル、ソレデ此第一ノ利益ト云フモノハ、建物ノ種類、階級ニ應ジテ適當ナル拵ヘラシテ、ソレト規模程度ヲ一定スル、其一定ガ例ヲ擧ゲテ言、タラドウ云フコトガ出來ルンデスカ、此一定ト云フコトガ、…ソレカラ第二ノ建物ニ要スル經費ニ付テ事務費ナリ又ハ工事費ナリ、サウ云フモノノ經費ニ付テハ節約ガ出來得ル、斯ウアル、ソレハ大藏省ノ管財局デヤレバ節約ガ出來、サウシテ他省ノ、特別會計ノ仕事ヲ殊更ニスル所デヤレバ節約ハ出來ナイ、ソレハドウ云フ譯デアルカ、ドウモ分ラナイ、從、テ茲ニ無駄ヲ省クト云フコトガ起、テ來ナイト

ニ無駄ヲ省クト云フコトガ起、テ來ナイト

思フ、ソレカラ第三ニ仰シヤル財政經濟上ノ事情ニ應ジテ、工事費ヲ容易ニ節約シ得ル利益ガアル、財政經濟上ノ事情ニ應ジテ工事費ヲ容易ニ節約シ得ル、ソレハ大藏省ノ主管ニ移サズ、即チ普通一般會計ニ移サナクトモ、同ジ道理デハナイカト思フ、デ財政ノ都合トカ何トカ云フコトデ直グ之ニ應ジテ工事費ヲ按配スルカラ大變ヨク出來ル、元々金ガチャント決マッテアルモノダカラ、何モ之ガ爲ニ財政ノ按配ト云フコトノ必要ガ起、テ來ナイト思フ、是ガ利益ノ理由ニハナラナイ、ソレハドウ云フモノカ第四ハ御説ノ事業ヲ調節シテ、失業防止ヲスル、失業ヲ防止スル、是ハ現ニ鐵道省デモ今回アレ程ニ失業ノ爲ニ公債ヲ發行シテマデモヤッテ居ル、何處デヤッテモ同ジコトデアリサウナモノデアアル、失業ヲ防止スルト云フコトガ出來得ルナラ、大藏省ノ管財局デナケレバ之ニ依、テ失業防止ガ出來得ナイ、是ハ殊ニ意味ガ分ラナイ、大藏省ニ限ルト云フコトガ分ラヌ、ソコデ労働者ヲ使フト云フヤウナコトハ、是ハ何處デモ同ジコトデアアル、之ガ爲ニ大變ニ今日ノ失業ノ多イ中デ、失業防止ガ出來ル、特別ノ金ヲ使フノチヤナクシテ、特別會計ノ方デ取扱ハウトモ一般會計ノ方デ取扱ハウトモ、

ヲ使フノチヤナクシテ、特別會計ノ方デ取扱ハウトモ一般會計ノ方デ取扱ハウトモ、

同ジ金ヲ取扱フノデアアルカラ、失業防止ニ若シナルナラバ同ジ事柄デアルト斯ウ解釋スルヨリ他ノ意味ハナイト思フ、ソレカラ第五ナシデアアル、第五ハ契約ノ方式及ビ工事監督ノ方針ヲ畫一ニスル、事務ヲ簡捷ニスルコトガ出來ル、當事者ニ對シテ廣ク公平ヲ維持スルコトガ出來ル、工事ノ實績ヲ良好ニスルコトガ出來ル、大變是ハ結構ナコトデアアル、ソレダケノ利益ガアルト斯ウ仰シヤル、所ガ契約ノ方式ハ茲デ何フガ、何デヤッテ居リマスカ、是ハ公入札デヤッテ居リマスカ、又指名入札デヤッテ居リマスカ、或ハ隨意契約デヤッテ居リマスカ、契約ノ方式ハ一ツ茲デ何ヒタイ、ソレハ特別會計ノ方デヤルナレバ、斯ウ云フ方法デアアル、併シ大藏省ノ管財局ノ方デヤレバ斯ウ云フ方法デアアル、ソレダカラ此間ニ是ダケノ利益ノ差ガアルンチヤナイカ、斯ウ云フコトニナル、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ工事監督ノ方針ヲ畫一ニスル、工事監督ノ方針ト云フノハ、總テ政府デヤル仕事ハ大體決マッテ居リマセウト思ヒマス、何故ナラバ初メニ計畫案ガ出來、圖案ガ出來テ、其圖案ニ依、テ目論見書ガ出來テ、ソレニ合セテ監督ヲスルノデアアル、又監督スルニハソレダケノ技能ガアル官吏ガスル管デアアル、決

ダケノ技能ガアル官吏ガスル管デアアル、決

シテ、特別會計ノ方ダレバ素人ガヤルケ
レドモ大藏省ダレバ玄人ガヤルト云フノ
ダハナカラウト思フ、ドウシテ此間ニソレ
ダケノ事務ヲ簡捷ニスルトカ、公平ヲ維持
スルトカ……是ガ私ニ分ラナイ、特別會計
ノ方ダハ不公平ニナル、斯ウ云ウヤウニ是
ダヤ見エル、若シ特別會計ノ方ノ仕事ガ總
テ不公平デアルトスレバ、此検査院ノ決算
ノ報告ニ依テ見テモ、大變ナル大キナ仕事
ガ多クテ、殊ニ澤山ナ特別會計ガアル、サ
ウ云フモノハ公平ニ出來得ナイト云フコト
ニナレバ、是ハ大變ナ事柄デアアル、是ハ我
我委員トシテモ大ニ考ヘナケレバナラヌ、
此點ニ付テハ政府ノ御取扱ハドウ云フヤウ
ニナッテ居ルカ、大藏省ダレバ公平ニヤレ
ル、他省ダレバ皆不公平ニナルト云フコ
トデアッテ見レバ、現ニ今豫算ノ審議中デア
ルカラ、是ハエライ問題デアアル、現ニ此法
案ノ會議ニ於テモ、衆議院デハ井上大藏大
臣ガ出テ答辯シテ居ラレル、何レ此處デモ
大藏大臣ニ出テオ貫ヒシテ答辯ヲ承ハラニ
ヤナラヌコトガアルダラウト思フノデス
ガ、是ハサッパリ私ニハ分ラヌ、之ヲ伺ヒ
タイ、是ガ利益ダト仰シヤルカラ……第六、
營繕管財局ニ於テ國有地ノ總括事務ヲ掌
テ居ル、其結果土地ノ選定ヤ購入ヲスルノニ

非常ニ便宜ガアル、是ハドウ云フコトカ、
土地其モノハ大藏省デ主管シテ居ルモノモ
ゴザイマセウ、ソレハ森林原野……内務省
所管ノ官有地ハ除イテ、其他ノモノハ大藏
省デ主管シテ居ル、併シソレハ特別會計デ
建テル營繕物、必シモ其大藏省ノ土地ヘ持
テ行ッテ建テルノガ利益デアアルカ利益デナ
イカト云フコトハ、其事業其モノニ付テ始
メテ起ッテ來ルモノデアアル、デ若シ之ヲ大藏
省ノ方ニ移シタ所ガ、ソレハ土地ハ土地
ノ管理方法ガ別ニナッテ居ル、物品會計ト云
フモノモアラウシ、國有財産ノ管理ト云フ
モノモアル、假令大藏省デ兩方トモヤッテ
居ルニシテモ、ソレハ管理ノ筋ガ違フ、ソ
レハ自分達ノ方ノ側ニ土地ガアルカラ、若
シ他ノ方面ナラバ、高イ土地ヲ買フトカ交
換スルトカ云フコトニナルガ、自分ノ方ニ
アレバ其土地ヲ使フカラシテ廉ク出來
ル……ソレハ若シ他ノ方面デ……其大藏
省デ主管シテ居ル土地ニシテモ、空イテ居
ル、大藏省デ讓ラレル土地ナラバ、他省ニ
矢張り讓ルノガ、矢張り是ハ當然ナ話デア
アル、ソレガ殊更ニ大藏省デ管財局ガ之ヲ支
配シテ居ルカラ、大藏省側デアル方ガ便利
デアアル、是ガ私ニハ分ラナイ、從ッテ他ノ
地ヲ購入スルニ付テモ、大藏省デ購入スレ

バ其間ニ入札……公入札ダトカ指名入札ダ
トカ、或ハ特買ニシテモ隨意契約ニシ
テモ、其間ニ利益ガアル、是ハ契約ノ
方法ニ依ルノデアッテ、アレハ何か管財局
ノ入札ガ宜シイ、デヤ此處デ團子ニナラ
ウト云フコトデ、一割トカ二割トカ、
何か印シヤ一ツ上デラレルトカ、袂デ手
ヲ握ラレレバ是ハ二割ノ「カギ」デアアル
トカ一割五分ノ「カギ」デアアルトカ直
グ分ル、是ハ入札ナルモノノ符牒ガ大藏省
ニハ能ク分ッテ居ルカラト云ウタ所ガ、符
號デセラレルコト、或ハ袂ノ中デセラ
レルコトハ、ソレハ分リハシナイ、ソレ
ハ大藏省デアレバサウ云フコトガ出來ル
ガ、他ノ省ニハソレハ出來得ナイ、斯ウ
云フコトガ何か大藏省ニ餘程其違ッテ方法
ガアルナラ、ソレハ別モノデアアル、アレ
バ承リタイガ、恐ラクハソレハ無カラウ
ト思フ、ソレ故ニ非常ニ是ガ便利デアアル
ト仰シヤルノガ、ドウ云フコトガ便利デアアル
ノカ、其便利ガ承リタイノデアアル、ソレカ
ラ第七デス、第七ハ營繕ニ關スル學術技藝
ノ研究鍊磨ニ資スル、是ガ利益デアアル、營
繕ニ關スル學術技藝ハ大藏省バカリヂヤ
ナイ、他ノ各省皆既ニ特別會計ヲ以テスル
例ヘバ電信ノ事業、電話ノ事業、鐵道ノ工

事ダトカ經營ダトカ云フヤウナコトハ、ソ
レゾレ其省ニ技術者ガ居ル、又サウデナク
チヤナラナイ、學術モ又研究モ、既ニ鐵道
省ノ如キハ立派ナ研究部ガアッテ、澤山ナ技
術者ガ研究部ニ居ル、ソレニ大藏省ヘ持ッテ
來レバ是ハ金ヲ收支スルコト、出シ入レス
ルコトニ付イテハ、成程大藏省萬能デアラ
ウ、併シ各省ノ仕事ヲ皆引受ケルダケノ技
能ノアル人間ヲ殊更ニ大藏省ニ置イテ置ク
ト云フコトハ、是ハ餘計ナ無駄ナ職員ヲ置
カナケレバナラヌ、大變ナ金ヲ出サナケレ
バナラヌ、是ハ不利益ハ決マッテ居ル、アベ
コベニ是ハ大藏省デ之ヲ御ヤリナサルトス
レバ不利益デアアル結果ヲ來スノガ當然デア
ラウト思フ、若シサウデナイトスルナラ
バ、大藏省ニソレダケノ技術ノアル、能率
ノ舉ガル人ガナイ管デアアル、斯ウ思フ、是
ハドウデスカ、ドウ云フ事柄ニ依ッテサウ云
フ人ガ別段ニ大藏省デ拵ヘテアルノデス
カ、平常……況ヤ是ガ段々大キナモノニ
廣ク各府縣迄モ及ボサウトスレバ、アッチ
ヘモ出張シコッテヘモ出張シナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フコトガ起ッテ來ル、ソレハドウ
云フ利益ガアルノデスカ、此七箇條ノ利益
ヲドウカ明瞭ニ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(小川郷太郎君) 高橋サンハ私

ガ營繕統一ノ必要ニ付テ述ベマシタ各箇條ニ付キマシテ、一々反對ノ意見ヲ持タレマシテ、質問ノ形デ今御話シニナリマシタ、各項ニ當テ御話ヲ致シマス前ニ、一般的ニ一ツ御答ヘラシテ置イタ方便宜ダト思ヒマス、是ハ大藏省營繕管財局ニ統一スルト云フコトデアリマスガ、實ハ大藏省ト他ノ省ト比較シテ、他ノ省ヨリ比較的大藏省ガ宜イトカ云フヤウナ、サウ云フヤウナ立前デハナイノデアリマス、大藏省ト云ハズ何所ト云ハズ營繕統一ト云フモノヲシテ一ツ所ニ集メルト云フコトト、ソレカラ各省各特別會計個々別々ニ澤山別レテ營繕スルノト、ドチラガ宜イカ、斯ウ云フコトニ付テ營繕統一ノ必要ト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、デ今玆ニ提案シテ居リマスノハ、此特別會計ノ營繕ト云フコトデアリマスケレドモ、營繕統一ノ必要利益ト云フモノハ、特別會計ト一般會計トノ關係ダケデナイノデアリマシテ、前ニモ申シマシタ一般會計内ニ於キマシテモ、東京神奈川縣ダケデアッタモノヲ全國ニ推廣メテ、サウシテ各省ノモノヲ一ツ所デ統一シテ行カウ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、ソコヲ一ツハッキリサウ云フモノデアルト御考ヘラ戴キタイノデアリマス、デ大藏省デヤルト云フノハ大正十四年

カラ始メマシテ、今日營繕管財局ガアリマスカラシテ、其營繕管財局デ此統一ノ仕事ヲ完成シタイ、斯ウ云フコトニ外ナラナイノデアリマス、デ問題ハ唯一ツノ所ヘ集メテヤルノガ宜イカ、個々別々ニ異、夕省ニ別ケテ營繕ノ仕事ヲスルノガ宜イカ、斯ウ云フコトニ外ナラナイノデアリマス、其考デ此各項ニ互ッテノ利益ヲ御考ヘ戴キタイト思フノデアリマス、先ツ第一ニ建物ノ規模程度ヲ一定シ建物ノ種類階級ニ應ジ適當ノモノヲラシメ、以テ各廳間ニ於ケル不權衡ヲ改メ得ルコトニ付キマシテ、御反對ノヤウナ御意見デアリマシタ、唯同一ノ同ジヤウナ種類ノ建物ト致シマス、同ジヤウナ種類ノ建物トシマシタ時分ニ、ソレガ省ニ依ッテ色ニ違フト云フノハドウモ宜クナイデハナイカ、同ジヤウナ種類ノモノデアレバ、尙クモ國家ノ官廳デアル以上ハ同ジヤウナ建物ニシタ方ガ宜イデヤナイカ、種類階級ニ應ジテ適當ナモノヲ建テシメルト云フノデアリマス、或ル省ニハ金ガアルカラ、ウシト立派ナ建物ヲヤル、或ル省ハ金廻リガ惡イカラト云フノデ、建物ガ見スボラシイ、斯ウ云フヤウナコトガ假ニアリトシマスレバ、ソレハ非常ニ不釣合デハナイカ、ダカラ同ジヤウナ種類階級ニ應ジテ適當ナモノ

ニスル、ソレニハ各省別々ニ營繕ヲヤッテ居ルヨリハ、一ツノ所デ集メテ統一シテヤレバ宜イデヤナイカ、從テ其種類階級ニ應ジテ一ツノドウ云フ式デドウ云フ規模デヤル、斯ウ云フコトヲ定メテ行クコトガ出來ル、各省ニ分レテ居レバサウ云フコトハ出來ニクタイノデアリマス、ソレカラ尙ホソレニ關聯イタシマシテ、是ハ一般論トモ言ヘマスガ其各省、各特別會計ハ必シモ其工事業ヲ目的トシテ居リマセヌデス、何時デモ工事業ヲ始終...年中ヤッテ居ルト云フ假定論デアルト、是ハチツト違ヒマス、能ク鐵道省ノコトヲ例ニ御出シニナリマスガ、是ハ統一ノ例外ニナリマス、昨日モソレハ申シテ居リマス、鐵道ハ建設事務ガアリマスカラ、成程或ル種ノ工事が始終アリマス、ソレデアリマスカラ是ハ例外ニシテ居リマス、外ノ省、外ノ特別會計デハ必シモ、建築事務ヲ目的トシテ出來テ居ルノデアリマセヌ、年々歳々建築事務ガ必シモアルトハ限ッタモノデハナイノデアリマス、此コトヲ一ツ先ツ御考ヘラ戴イテ置キタイト思ヒマス、第二ニ營繕ニ關スル經費ニ付キ節約ヲ爲シ得ルコト是ニ付テモ反對ノ御意見ガアリマシタ、是ハ同ジ理窟デアリマスガ、各省各特別會計ハ營繕事業ト云フモノヲ目的トシ

タ其ヤウナモノデナクシテ、其所ニ時々營繕ノ仕事ガアル、之ヲ各省、各特別會計委セニシテ置キマス云フト、營繕ノ仕事ガナイ時分ニハ人ヲ遊バシテ置クト云フコトモアルノデアリマス、所ガ營繕管財局ニ置キマス云フト、何時デモ營繕ノコトヲヤッテ居リマスカラ、人ヲ遊バスト云フコトハナイノデアリマス、ソレカラ例ヘバ、或ル例、チヨット直營ノ工事業ニ致シマスレバ、偶、或ル省或ル特別會計デ營繕ヲシマシテモ材料ガ餘ルト其儘ニ棄テ、シマハナケレバチラス、所ガ之ヲ營繕管財局デ統一シテ居リマス云フト、餘ッタモノハ外ノ方ニ使ヘルト云フコトニナルノデアリマス、從テ人件費ニ於キマシテモ物件費ニ於キマシテモ、即チ事務費ニ於キマシテモ工事費ニ於キマシテモ、營繕一ツ所デ統一シテ置ケバ、節約ガ行ハレ得ルノデアリマス、第三ニ財政經濟上ノ事情ニ應ジマシテ營繕費ヲ調節スル場合ニ利便ガ多イ、是ハ例ヘバ緊縮方針デチヨット少シ引締メヤウト云フヤウナ場合デス、各省ニ互ッテ居リマスレバ、内部ノ交渉モナカク、旨ク行キマセヌ、或ル省ノモノハ緊縮シ或ル省ノモノハ緊縮セヌ、例ヘバ繰延ニ付キマシテモ、各省ノ間ニドウモ同ジヤウナ足竝デ行ケナイコトモ

アリマス、所が大藏省營繕管財局ニ統一シテ居リマスレバソレガ旨ク繰延ベルナラ繰延べ、引締メルナラ引締メルト云フヤウナ風ニ、調子ガ一樣ニ合テ行キマス、デ營繕費ヲ調節スル場合ニ大變ナ利益ガアル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、故ニ今日デモ各省ニ營繕費ガ分レテ居リマスカラシテ、繰延ヲヤリマスノニ其時ノ交渉ノ次第ニ依テ必シモ同ジヤウナ風ニ行カナイコトガアル、是ハ免レ得ナイノデアリマス、ソレガ營繕ガ統一シテ居マスト云フト、サウ云フコトガ、非常ニ都合好ク行ハレルト云フコトニナリマス、ソレカラ第四ニ失業ヲ防止スル爲ニ事業ヲ調節スル場合ニ利便ガ多イコト、是ハ一ツノ所デ營繕事務ヲ扱テ居リマスト云フト、先ツ年々歳々同ジ均一的ノ仕事ヲスルト云フヤウナ風ニ取計フトガ出來マス、從テ失業者ヲ防止スルト云フコトガ……多少サウ云フ效能ガ出テ來ルト思フノデアリマス、是ガ各省各特別會計ニ分レテ居リマスト云フト、或ル省ノ仕事ガ無クナッテシマヘバソレ切リ失業ガ起ルト云フコトニナリマシテ、營繕ニ關スル年均一的ニ仕事ヲスルヤウナ風ノ切盛ガナカナカ容易ニ出來マセヌ、サウ云フ意味ニ於キマシテサウ云フ事業ノ調節ガ出來マス

レバ、從テ失業ヲ防止シ得ル利益ガアルト考ヘタノデアリマス、ソレカラ第五ニ契約ノ方式及ビ工事監督ノ方針ヲ確立シテ事務ヲ簡捷ニシ又當業者ニ對シテ廣ク公平ヲ維持スルコトヲ得テ工事ノ實績ヲ良好ナラシムル利便アルコト、之ニ付テモ御反對ノヤウデアリマシタガ、各省各特別會計ニ分レテ居リマスト云フト、請負契約ヲ致シマスニ付キマシテ、色々各省ノ間ニ違テ來マス、ソレヲ一ツノ省デ……一ツノ營繕管財局デ集メテヤリマスト云フト、其ヤリ方ガ畫一ニナリマス、ソレデ請負ヲサシテ後ノ工事ノ監督ニ致シマシテモ工事監督ガ各省各特別會計ノ間ニ區々ニナラナイデ、矢張り畫一的ニヤルコトガ出來マスカラ、事務ガ非常ニ簡捷ニナル、ソレデ請負業者カラ申シマスト、或省ノヤリ方ト他ノ省ノヤリ方ト違フト云フコトニナル、サウスルトソコニ公平デナイト云フコトニナリマス、一ツノ所デ、一ツノ方針ノ下ニヤッテ行キマスト云フト、當業者ニ對シテソレガ公平ニナッテ來ルト思フノデアリマス、ソレニ關聯イタシマシテ此契約ノ方針ニ付テ御尋ガアリマシタガ、契約ハ一般競争モアリマス、指名競争モアリマス、隨意契約モアリマスガ、但シ出來得ル限り一般競争ハ弊害ガ多イト

認メマシテ、從來ハ之ヲ避ケテ居リマス、當業者ノ方カラ申シマシテモ、此契約ノ方法ノミナラズ、契約ノ内容ヲ……條項ヲ統一スルコトヲ希望イタシマシテ、從來之ニ關スル陳情書ガ大變出テ居リマス、ソレデアリマスカラ、茲ニ第五ニ數ヘタ利便ノ如キハ、當業者ノ方カラモ實ハ訴ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、第六ノ營繕管財局ニ於テハ國有地ノ總括事務ヲ掌ル結果、土地ノ購入ニ付キテ、其他之ヲ選定スル土ニ付キテ利便多キコト、之ニ付テモ何カ御反對ノ御意見デ御質問ノヤウデアリマシタガ、御承知ノ通りニ國有地ハ大變廣汎ニ互テ居リマシテ、其國有地ノ事務ハ相當ニ多イノデアリマス、國有地ヲ或ル官廳ノ建築ニ用キルト云フヤウナコトモアリマセウシ、其外ノ土地ヲ買入レルト云フコトモアリマセウ、其國有地ノ上ニ何カノ工事ヲ施スト云フコトデアリマスカラ、營繕管財局ノ方デ國有地ヲ掌テ居ル方面デ能ク分テ居リマスカラシテ、大變都合ガ好イコトニナリマス、其上此土地ヲ處分シタリ何カスルトノ事務ヲ扱テ居ル關係上土地ノ値段ナシカモ能ク調ベテ居リマスカラ、國有地ヲ若シ賣ラウト致シマスカラ、其近邊ノ土地ノ値段モ能ク調ベナケレバナリマセヌカ

ラ、其土地ノ値段ナンカト云フコトニ付テモ専門的ニ調ベテ居ルヤウナ、サウ云フ處デアリマスカラ、其處ニ營繕ノ事業ガ統一サレマスカラ土地ヲ買フ上ニ於キマシテモ、ドノ土地ヲ選定シテ行クト云フコトニ付キマシテモデス、先ツ専門家ガソレニ當ルヤウナコトニナリマスカラシテ、矢張り都合ガ宜イ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居、譯デアリマス、ソレカラ第七ノ營繕ニ關スル學術技能ノ研究練磨ニ資スルコト大キイコト、是ハ總テノ營繕ノ事務ガ一ツニ集リマスト云フト、仕事ガ多イノデス、從テ此研究ヲスル所ノ機會ガ多クナッテ來マシ、又ソレヲ専門ニ研究スルモノヲ置イテ居リマシタ所デ差支ノナイコトニナリマス、所ガ各省、各特別會計ニ於キマシテ稀レニ營繕ガアルト云フコトニ付テ、ドウモ専門ニ研究ヲスルト云フ者ヲ置イテ置ク譯ニモ行キマスマイト思ヒマス、常ニ仕事ノ集マッテ居ル所ニ置イテ研究練磨ト云フコトガ出來テ來ルノヂヤナイカト思フノデアリマス、デサウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ營繕統一ヲシテ行キタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○高橋琢也君 政府委員ハ此七箇條ニ對シテ、個條毎ニ私ガ反對シテ居ルト、斯ウ云

フコトヲ頻リニ仰シヤルガ、ドウ云フ譯カ、私ハ何モ今此案ニ付テ意見ヲ出シテ居ルノチヤナイ、討論ヲシテ居ルノチヤナイノデス、斯ウ云フヤウナ利益ガアルト仰シヤルケレドモ、其利益ハ見エナイチヤナイカ、ドウシテ是ガ利益ニナルノデアアルカト云フ疑ガアルカラ、其疑ヲ一々私ハ質シテ居ル、決シテ私ハ反對ヲスル、贊成ヲスルト、ソシナコトハアラウ道理ハ無い、是ハ少シ御考方違テ居ル、サウ云フ見地カラ御答辯ナサルカラ殊更ニ喰違テ來ル、ソレハ止メテ戴キタイ、私ハマダ八十五ダカラ此位ノコトハ辨別スル頭ハ有ルノデスカラ、ソレ程頭ハ混亂シテ居ナイ、此仰シヤルノハモウ先ニ私ガ大明細ニ質問ヲ致シタノデアアルカラ御分リニナッテアルニ違ヒナイ、併シ仰シヤル所ニ依ルト、何かマダ利益ガアリサウニ思フ、所ガ煎ジ詰メテ見ルト、唯建築デアアルカラ一ツ處ニ集メレバ利益デナイカト云フニシカ止マラナイ、所ガ特別會計ニ依テ建築スルヤウナモノハ悉ク建築ノ仕様、目論見ノ上カラ違テ居ル筈デアアル、技術者モ亦皆ソレノ違テ居ル、例ヘバ飛行機ヲ入レル格納庫ヲ拵ヘルトカ、列車ヲ入レル倉庫ヲ拵ヘルトカ、普通ノ倉庫デイクナイコトハ分リ切ッテ居ル、ソレ故ニソレ

ゾレノ皆技師ガ居テ、而モソレガ多年集マテ研究ヲシテ居ルノデス、ソレヲ大藏省デ集メテシヤウト云フコトハ到底出來ルモノデナイ、ダカラ滅法界ナ、謂ハハ是ハ空想ニナル、サウ云フコトヲシヤウトスレバ……從テ此各項皆ソレデアアル、工事ヲ目的トシナイト云フコトヲ答辯デ仰シヤッタケレドモ、無論ノ話デアアルケレドモ工事ソノモノガ業ニ已ニ違テ居ル、皆……特別會計ニ今回御入レニナラウト云フモノハ、是迄府縣ヲ、東京、神奈川縣ハヤッテ、是ダ、是カラ各府縣ヲヤル、サウ云フ小サナ目高ミタイナモノヲ集メテヤラウモノナラバ澤山アルデアラウガ、何等ノ利益ガ無い、ソレ故ニ衆議院デハ是ダケノコトヲシテモ僅ニ本年度百十三萬圓シカナイチヤナイカト云フヤウナコト迄衆議院チヤ質問シテ居ル、ダカラソレホドニ大層此處ニドウモ效能書ガ竝ベテアルケレドモ、此效能書ニ當ラヌト私ハ思フ、況ヤ先キニ私ガ技術者ノコト迄モアンナニ御話申シタ、又ソレカラ契約ノ方法、所謂指名入札ノ方ガ當事者ノ方モ喜ブ、一番宜イ、是ハ私ニハ甚ダ分ラナイ、凡ソ建築ニハ限ラヌガ總テノ入札ガ購買入札デモ亦官廳ノ物品ヲ賣拂フニシテモ、工事請負ヲサスニシテモ、直營ニシテモドウシテ

モ一部ノ仕事、仕事ハ其専門ノ者ニ矢張り申付ケナクチヤナラヌ、其申付ケル場合ニ之ヲ指名入札ニスル、一般ノ公人札ニハシナイ、當事者モソレヲ望ム、是ハ當り前ノ話デ當事者ハソレヲ望ンデ仕方ガナイノデアアル、ドウカ今度斯ウ云フ入札ガ出ルヨ、例ヘバ大林ナリ大倉組ナリ澤山ナ請負、大キナ請負師ガアリ、所ガ其中ニ大藏省ノ始終指名ヲ受ケルモノハ誰ニ、誰ニ、誰ニ、チヤント向ウニハ分テ居ル、サウスルトチヨット入札ヲスル爲ニ集マク者、或ハ入札ヲ豫メ各人ガ持テ行クニシテモ、其場デ入札シ其場デ開票セラレルヤウニシテモ、先ニ私ガ言ッタヤウニ、ア、今日ハ八日ダナトカ、ウン、サウサ、杓子デト云フヤウナ言葉デモ、例ヘバ杓子ト云ヘバマダ宜イケレドモ、飯盛ト云フ飯ヲ盛ルモノハ杓子デアアル、サウスルト、ソレハ十四ニナル、或ハ五分材デ云ヘバ是ハ尺四ノ材木、斯ウ云フチヨット話ヲシタヤウナ顔ヲシテ、上ヲ向イテ、ア、今日ハ丁度三日月ダナト云フト、是ハ三割ノ「カギ」ダナトカ、一割五分ノ「カギ」ダナト云フヤウナコトガ直グ分ルノミナラズ、是ガ指名入札ニナルト、其一ツノ「グループ」ガチヤント出來テ居ルカラ分リ切ッテ居ル、サウスルト其者ガ何時デモ集

テ、先ヅ牛鍋デモ食ベテ、ザット今日ハ斯ウ云フンダ、君ノ處デ今度ハ止メテ呉レ、其代リ是ダケ出スンダ、サウスルト割合ヲ二割ナリ、三割ナリ、五分ナリヤル、其割合ヲ決メテ、其處ヘ顔ヲ出シタ者ハ皆割合ヲ貰テ引込ンデシマフ、ソレダカラチヤント落札スル人間ハ決マッテ居ル、ソレニハ一番此指名入札ガシ易イ、公人札デ一般ニ募ルト何處カラ出テ來ルカ分ラヌ、是ガ爲ニ會テ土佐ノ大林區署デ幡多ノ檜、權ノ拂下ヲスル時ニ豫戒令ヲ敷イタコトガアル、ドウシヤウニモ、皆澤山ナ壯士見タヤウナ者ガ船デ態行テ、サウシテ外カラシテ、伊豫ノ方カラデモ來テ買ハウト云フ奴ガアッタラ、第一ニ其宿ヲ襲フ、斯ウ云フヤウナコトデアアル、ソレデアアルカラ誠ニ此入札ヤナシカト云フモノニ付テモ危険ガ多イ、ソレカラ大藏省ハ是マデ餘リ弊害ガアッタコトヲ聞カナイケレドモ、他ノ方面ニハ是マデ度ニ弊害ノアッタコトガ多イ、尤モ此官吏或ハ取扱ノ職員ガ酒ヲ飲ムトカ、監督者ガ嚴重ダカラトテ現ニ此指名入札ヲスル者ノ仲間ガ集マッテノ話ヲスルノヲ聽クト、ドウモアノ奴ハヤッテシマハナケレバイケナイ、アイツガ出テ來ルト云フト、例ヘバ此處ニ三百坪ノ屋根ヲ葺ク、サウスルト實地ヲ今度

葺イタヤツヲ三十坪若クハ十五坪メックッテ
見テ、其個所ハドコダトチヤント決マッテ居
ル、此處ダケハ立派ニ仕様書通りニ出來テ、
チヤント釘モソレノ入レテアルカラ、行
テズンノメックッテ見ルトチヤント出來テ
居ル、成程、是ハ宜シイ、ソレガ監督ガ請
負ト酒ヲ飲マナイト……酒ヲ飲メバ其場所
ヲ知ラシテ居ル、直グチョット印シガ屋根ニ
付イテ居ル、ソレガ出來ナイト云フト、今
度行ッテ監督ガ覗イテ見テ、橋ナラ橋ノ下カ
ヲ窺イテ見テ、ドウ云フヤウニヤッテ居ルカ
ト云フ時分ニ後ロカラ棒カ何ンカデバット
ヤッテ倒シテシマフ、是ハ地方ニ澤山アルコ
トナンデ、酒ヲ飲マナイトスルト、斯ウス
ルト云フヤウナ弊ガアル、是ハ既ニ大藏省
ノ管財局アタリノ人ハ殊更ニ能ク知ッテ居
ラレルニ違ヒナイ、ソレ故ニナカノ指名
入札ト云フモノハ弊ノ最モ生ジ易イモノデ
アル、ソレデアルカラ、ドウシテ大藏省デ
ハ管財局ノヤウナコトヲ廣クヤラレル、處
ガ立派ナ公入札ノ方法ガアルニモ拘ラズ、
一般ノ入札ヲセズニ、サウ云フコトヲセラ
レルカ私ニハ分ラナイ、尙ホ是ニ付テ御説
明ガアレバ承ハリタイ、先ヅソレダケ……

テ申請アリマセヌ、高橋サンノ反對ノ御意
見ト云フヤウナコトヲ申上ゲマシタカ覺エ
テ居リマセヌガ、唯サウ云フ風ニ私ハ感ジ
マシタモノデスカラ、サウ云フ言葉ヲ違タ
ンデアリマスケレドモ、ソレハ取消シテ置
キマス、唯疑ヒト云フコトデアリマシタカ
ラ、唯御疑デマア御質問ガアタト云フコ
トデアリマス、高橋サンノ御話ノ中ニ或ハ
陸軍ノ飛行機デアルトカ、列車デアルトカ
云フヤウナ例ヲ擧ゲラレマシテ、統一スル
必要ハナイデヤナイカト云フ御疑ヲ述ベラ
レテ居リマスガ、此列車トカ何トカ云フコ
トハ、前ニモ申上ゲル通り鐵道省ハ營繕統
一ノ例外モ置イテ居ルノデアリマス、サウ
云フ例デ御話ニナリマスト云フト、チョット
斯ウ私等ノ趣意ガハッキリ映ラヌカモ知レ
ナイ、先ヅ此廳舎トカ云フヤウナモノニ付
テ一ツ御考ヲ戴キタイノデス、例ヘバ此簡
易生命保險ノ廳舎ヲ一ツ拵ヘルト致シマシ
タ時分ニ、ソレガ特別會計デアルノ故ヲ以
テ、一般會計ノ廳舎ト違タモノニシナケレ
バナラヌト云フ譯デモナイト思フノデアリ
マス、現ニ今度ノ豫算ノ中ニモ、福岡ニ簡
易生命保險局ノ支所ノ廳舎ガ出來ルノデア
リマスガ、ソレハ外ノ省ノ廳舎ト區別シナ
ケレバナラヌト云フ理由ハ無イ、ソレト同

ジヤウナ廳舎ヲ拵ヘル、其種類其階級ニ應
ジテ同ジヤウナ種類、同ジヤウナ階級ノモ
ノデアレバ、同ジヤウニ取扱フガ宜イジヤ
ナイカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデ
アリマス、特別ノモノニ付キマシテハ是ハ
例外ヲ認メテ居ルモノガアルト云フコトハ、
是ハ昨日カラ既ニ申上ゲテ居ル通りデアリ
マス、ソレカラ此豫算ニ百十三万圓程シカ
ナイト云フコトデアリマシタガ、成程ソノ
昭和六年ノ豫算ニハ今回ノ營繕統一ヲスル
爲ニ百十三万圓シカナイカモ知レマセヌ、
ソレハ古イモノハ、從來アルモノハ矢張り
從來ノ儘デ殘シテ置クヤウナ關係ノモノモ
アリマス、ソレカラ新シイモノハマダ斯ウ
云フ財政上ノ事情カラ致シマシテ、餘リヤ
テイカヌト云フコトデアリマスカラ、タン
ト出テ居ナイト云フコトニナリマス、併ナ
ガラ此方針ガ決マリマスト云フト、今後ニ
於キマシテハ相當ナ數字ノモノガ出テ來ル
ダラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ次ニ此
入札ノコトデアリマシタ、是ハハチヨッ
ト私ノ前申上ゲマシタノガ十分ニ御了解ヲ
得テ居ナイヤウデアリマスカラ、モウ一應
御話申上ゲテ置キマス、ドウモ當業者ガ熟
望シテ居ルト申シマシタノハ、契約ノ方法
ノミナラズ契約ノ内容ヲ統一スルコトガ必

要ダト、斯ウ云フヤウナ希望ガ土木建築業
者ノ間ニアリマシテ、其陳情ガアタト云フ
コトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ此
指名入札ガ弊ガ多イト云フヤウナ御話デア
リマシタ、此指名入札ノ弊ノ多イト云フコ
トハ御尤デアラウト思ヒマスケレドモ、是
ハ營繕統一ヲシヤウガシマイガ同ジヤウニ
起ル問題デアリマス、今日營繕統一ガ無イ
所ニ弊害ガアルト、斯ウ云フコトデ今高橋
サンガソレヲ御指摘ニ相成タラント考ヘ
マス、デ其問題ハ別問題デ、實ハ大ニ考究
ヲ要スルト思ヒマスガ、併シ指名入札ニハ
惡イ所バカリデモナイ、資産信用ノアリマ
ス、工事ニ經驗ノアル確實ナル當業者ヲ選
定シマシテ競争セシメマスカラシテ工事ノ
此竣工ガ誠ニ宜シイノデアリマス、多少ハ
其指名入札ノ間ニ弊ガアリマスカラ、成ル
タケ其弊ヲ避ケマス爲ニ指名者ノ數ヲ多ク
致シマシテ、又指名者ヲ入替ヘル等注意シ
テ居リマスカラシテ其弊害ヲ除キ得ルコト
モ出來ルノデアリマス、デ公入札モ一般入
札モ理窟ノ上ハ大變宜イコトナノデアリマ
ス、ケレドモ實際ニ於キマシテハ又是ハ甚
ダ弊害ガアルノデアリマシテ、非常ナ不誠
實デ而モ信用ノ無イヤウナ者ガ入札ニ加入
シテ來マシテ、マアベラ棒ニ安イヤウナモ

ノ下落札シマス、落札シタ後ニドウナルカ
ト云フト工事が十分ニ出來ナイ、偶出來
レバ不完全デアッテ、粗末デアッテドウモ廳
舎トシテモ其他ノ建物トシテモ使フノニ困
ル、斯ウ云フコトモ起テ來ルンデアリマ
ス、サウスルト營繕ノ完全ナ目的ガ十分ニ
達セラレナイコトガアルノデアリマス、理
窟ノ上デハ大變宜イコトデアリマス、ケ
ドモ、實際ニ於テ甚ダ困ルコトナノデアリ
マスノデ、一般競争入札ト云フモノガ經驗
ノ上デマア避ケザルヲ得ナイヤウナコトニ
ナッテ居ル次第デアリマス、デ指名入札、一
般競争入札ト云フモノハ色々御意見アリマ
セウケレドモ、一體今度ノ此問題ハ、營繕
統一ノ問題ハ其問題ト別問題ト致シマン
デハ前申シマシタヤウナ理由デ之ヲ統一シ
ヤウト考ヘテ居ルノデアリマス

云フコトガアラウト思ヒマスカラ、ソレデ
私ハ御尋ネシタノデアリマス、デ是ハ別問
題ト仰シヤルガ、別問題デナカラウト思フ、
片方ハ特別ノ須要ト云フモノガアッテ、ソレ
ニ基イテ會計法ニ依ッテ特別會計法ニ編入
シタ位ノモノデアアルカラ、法律マデモ改正
ラシテ普通一般ノ會計ニ之ヲ繰入レヤウト
云フノニハソレダケ新シイ法律ヲ拵ヘテ、
初メテ此理由ヲ得ルト云フ迄ニ至ラニヤ、
ソレダケノ理由ガナケレバナラヌ、苟モ兩
院ノ決議ヲ經テ初メテ是ハ法律ガ出來テス
ル位ノ仕事デアアル、ソレカラ頻リニ私ガ特
別ノ須要ガアルカラ特別會計ガ出來テ居ル
ノデ、ソレガ爲ニ技術者、學者ト云フモノ
ガ研究ヲシテ居ル、斯ウ云フコトニ對シテ
鐵道ハ別デアアル、列車ハ別ト仰シヤルケレ
ドモ、ソレハ例外デアアル、例外デ列車ヲシ
ロトハ私ハ言フノヂヤナイ、唯縣廳若クハ
府廳ノ廳舎ヲ建テルコトハ成程是ハ仰シヤ
ル通り同ジヤウデアラウ、サウ云フモノハ
マア普通ノ場合、現ニ此中ニモアル各府縣
ノ廳舎ヲ建テルト云フナラ、ソレハ同ジ
型デ宜シイデアリマセウガ、併シ是モ場合
ニ依ルト、東北デ建テルナラ青森ノ樞ヲ使
フトカ、五畿カラ東海道邊ナラ木曾ノ檜
ヲ使フトカ、或ハ木曾ノ羅漢柏、良イモノ

ニナレバ矢張り高野槇ヲ使フトカ九州ニナ
レバ場合ニ依レバ楠モ使フ、是ハ地方ニ依
テ又違フ、ケレドモ一般ノ廳舎位ノモノナ
ラソレデ宜シイ、併ナガラ如何ニ是ハ役所
デアリ、一般ノ廳舎デアアルニシタ所デ、矢
張り貴賓室モ拵ヘナケレバナラヌ、外國人
ノ來タ場合ニソコニ通サナケレバナラヌ、
サウ云フヤウナ處ヘハ日本ノ高野槇ヲ拵ヘ
タ廳舎デアアル、此室ニハ楠ガ使ッテアル、樺
ガ使ッテアル、木曾ノ五木デ以テ總テノ建築、
此座敷ダケハ出來テ居ルト云フヤウナコト
モ亦大イニ必要ガアル、況ヤ今日外國ノ御
客サンヲ澤山入レヤウト云フヤウナコトハ
鐵道省バカリデナイ、方々デヤッテ居ル、是
ハ又是非今回國立公園ナドガ出來ルノモ一
ツハ其メドデアラウト思フノデス、ソレデ
アルカラ唯普通ノ廳舎デアアルカラ同ジヤウ
デアルト云フ譯ノモノデナイ、ソレデ餘リ
單純ナ御考ノヤウニ私ハ考ヘル……思フ、
併シ意見ハ後ニ別ニ申上ゲル、唯疑ノアル
所ダケハ私ハ質問シテ置ク、私ハ何ダカ一
人デ質問ヲシテ居ルヤウデ甚ダ相濟マヌカ
ラ先ヅ此位ニシテ質問ハ打切りマセウ

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ特別
會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ル、コ
トニ關スル法律案ノ質問ニ移リタイト思ヒ
マス

○高橋塚也君 恩給ニ付テハ政府委員ニ、
是ハ代理首相ニ質問ヲ致シタイトガダン
ダンアルノデスガ、代理首相ハドウデゴザ
イマスカ、御質疑ガ出來得マスカ

○政府委員(小川郷太郎君) 今何シテ見マ
スカ、外ノ委員會ニ出テ居マセヌケレバ……
チヨット何ッテ見マス

○高橋塚也君 ソレナラバ政府委員ニ、法
制局長官トカ、一般ニ對スル責任ノアル政
府委員カ誰カ來テ居ラレマスカ……、ソレ
迄二三伺ヒマス、此一般ノ恩給、軍人恩給、
是ガ今ドウ云フヤウナ取扱ニナッテ居テ、
サウシテドレダケノ額ガアリマスカ、金額
ハドレ位ニナリマスカ、ソレカラ此外國人
ノ恩給ト云フモノハドウ云フヤウナ性質ノ
モノデスカ、ソレハドウ云フ官吏デスカ、
外國人ニ恩給ヲヤルト云フノハ日本ノ官吏
ニナッテ居タ者デセウガ、ソレハドウ云フ
官吏デアアルカ、又年限ハドウ云フ風ナモノ
デスカ、ソレカラ此處ニ給料ト云フモノガ
別ニナッテ居ル、此給料ト云フモノハ俸給デ

○委員長(侯爵西郷從德君) 此特別會計ニ
於ケル營繕費ニ關スル法律案、是ニ付キマ
シテドナタカ御質問ガゴザイマセウカ

ナイ、サウスルト給料ニアラザル部分ノ恩給ト云フコトガアル、是ハ公務員、或ハ之ニ準ズベキモノ、斯ウ云フヤウナモノデアラウト思ヒマスガ、實際ノ例ヲ擧ゲテ云ヘバドウ云フ職員デアアルノデスカ、先ヅ之ヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(賀屋興宣君)

只今ノ御質問ノ

中ノ公務員ト云フ方ヲ御答申上ゲマス、此公務員ト申シマスノハ恩給法ノ第十九條「本法ニ於テ公務員トハ文官軍人教員職員及警察監獄職員並第二十四條ニ掲クル待遇職員ヲ謂フ」、普通ノ官吏ト云フ範圍ヨリ稍、廣イ點ガアリマス、第二十四條ニ此「待遇職員トハ左ニ掲クル者ヲ謂フ」トアリマシテ、判任待遇以上ノ神宮司廳ノ職員トカ、神宮神部署ノ職員トカ、サウ云フヤウナ神職其外地方ノ吏員デ判任官以上ノ待遇ヲ受ケマス者トカ、サウ云フヤウナ者ヲ二十四條デ規定シテ居リマス、ソレデ官吏ト書キマセヌデ恩給法デ公務員ト申シテ居リマス、茲ニモ其言葉ヲ其儘使ヒマシタノデアリマス、ソレカラ尙ホ恩給金額ニ付テ御質問ガゴザイマシタガ、昭和六年度ノ豫算……只今御協賛ヲ願フテ居リマス豫算ニアリマス金額ハ一億三千六百二十万三千四百二圓デゴザイマス、此内軍人ニ關スルモノ幾ラト云フ御

話デアリマシタ、軍人ニ關シマスルモノハ

大體此陸軍軍人恩給、海軍軍人恩給、ソレニ陸軍軍人遺族扶助料、海軍軍人遺族扶助料、是ガ主ナルモノデゴザイマス、癡兵遺族扶助料ト申スモノモアリマス、是ハ極ク少シデゴザイマス、今ノ主ナ四ツダケ集メ

マシテ九千二十八万五千四百一十一圓、約九千万圓……一億三千六百万圓ノ内デ九千万圓デス、ソレカラモウ一ツ御尋ガアリマシタ此外國人恩給デゴザイマス、是ハ此恩給法ニ依リマス恩給デアリマセヌノデアリマシテ、特ニ是ハ恩給ヲ付ケマストキニハ閣議ノ決定ヲ經マシテヤッテ居リマシテ、所謂恩給法上ノ恩給デアリマセヌ、ソレデハドウ云フ人ニヤッテ居リマスカト云フト、外國人ガ日本ノ政府ニ雇ハレマス場合……

多クノ場合ハ是ハ學校ガ多イノデアリマス、尙ホ遞信省、鐵道省等ニ長年勤続シタ人モアリマス、其人ガ長ク日本ノ學校其他ノ所ニ勤メマシテ、功績著シイ場合ニ特ニ所管大臣カラ請求ガアリマシテ、大藏省デ審査イタシマシテ、サウシテ閣議ノ決定デ恩給ヲ支給スルト云フコトニ致シテ居リマス、主ニ學校ノ先生ガ多イノデアリマス

○高橋琢也君

是ハドノ位ノ金高ニナッテ居リマスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 外國人恩給ハ六年度ノ豫算ニ載ッテ居リマス金額ハ、二万二千三百五十圓デゴザイマス

○高橋琢也君 此公務員ノ恩給デスネ、此公務員ノ恩給ナルモノハ、例ヘバ茲ニ九千万圓トカ、八千万圓トカアル、其内ノ幾部分ハ一般ノ官吏トシテ出スノデアアル、サウシテ其他ノ幾部分ト云フモノハ、例ヘバ地方ノ縣吏ト云フヤウナ者ノ按配ニシテ、一方ハ國庫カラ取ル、一方ハ縣ノ方カラ貰フト云フヤウナ意味ノヤウニ聽イテ居、タノデスカ、ソレハゴザイマセヌカ

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ御話ノヤウナ工合ノモノハアリマスノデス、恩給法デ恩給ヲ支給イタシマス者ニハ、其地方費デ以テ、地方ノ公共團體デ以テ俸給ヲ受ケマシタ者、其者ニ付テモ矢張り恩給法デ恩給ガ支給サレマス、其場合ニ於テ或ル特定ノ人ガ、地方ノ吏員トシテモ俸給ヲ受ケ、更ニ又國ノ官吏トシテモ俸給ヲ受ケタヤウナ場合ニ、其恩給ハ兩方ノ勤続年限ヲ通算イタシマシテ、其金額ヲ給シテヤルト云フコトニナッテ居リマス、サウ云フ場合ニハ地方費ガ其恩給額ノ内ノドノ位ヲ負擔スルカ、國費ガドノ位ヲ負擔スルカト云フコトハ、恩給法及其施行令ニ依リマシテ、計算ノ方

法ガアッテ決マリマシテ、サウ致シマシテ、其者ニ對シテ國ガ恩給ヲ支給イタシマシタ場合ニハ、地方費デ其負擔スベキ部分ダケ國ノ方ニ金ヲ繰入レマス、又地方費ガ其者ニ對シテ恩給ヲ負擔イタシマシタ場合ニハ、國庫ガ自分ノ計算上ノ負擔部分ダケ其地方費ニ返シテヤルト云フヤウニ今ヤッテ居リマス、丁度御尋ノヤウナモノガ遣入、テ居ル次第デアリマス

○高橋琢也君 宮内官吏ヲ十年勤メタ、ソレカラ政府ノ官吏ニ轉ジテ又八年勤メタト云フヤウナ人ガアッテ、其恩給ハドウ云フヤウニナリマスカ、政府デアトデ八年間勤メタト云フ者モ、矢張り前ノ同ジ通算デ、政府デ總テ拂ヒマスガ、前ノ分ダケハ宮内省デ拂ヒマスカ、ソレカラ今一ツ、此處ニ「公務員若ハ之ニ準スヘキ者又ハ其ノ遺族ノ恩給」、斯ウアッテ、「外國人恩給ヲ含ム」、斯ウ云フコトガアルガ、サウスルト「公務員若ハ之ニ準スヘキ者」ト云フノハ、ドウ云フ資格ノモノヲ云ヒマスカ、ソレカラ「外國人恩給ヲ含ム」ト云ヘバ、外國ニ今日歸ッテ仕舞ッタ遺族ニ向ッテ、所謂扶助料ナルモノヲヤル、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君)

只今ノ御尋ノ宮内官吏アリ、又國ノ官吏デアッタ人ノ、其人

法ガアッテ決マリマシテ、サウ致シマシテ、其者ニ對シテ國ガ恩給ヲ支給イタシマシタ場合ニハ、地方費デ其負擔スベキ部分ダケ國ノ方ニ金ヲ繰入レマス、又地方費ガ其者ニ對シテ恩給ヲ負擔イタシマシタ場合ニハ、國庫ガ自分ノ計算上ノ負擔部分ダケ其地方費ニ返シテヤルト云フヤウニ今ヤッテ居リマス、丁度御尋ノヤウナモノガ遣入、テ居ル次第デアリマス

○高橋琢也君 宮内官吏ヲ十年勤メタ、ソレカラ政府ノ官吏ニ轉ジテ又八年勤メタト云フヤウナ人ガアッテ、其恩給ハドウ云フヤウニナリマスカ、政府デアトデ八年間勤メタト云フ者モ、矢張り前ノ同ジ通算デ、政府デ總テ拂ヒマスガ、前ノ分ダケハ宮内省デ拂ヒマスカ、ソレカラ今一ツ、此處ニ「公務員若ハ之ニ準スヘキ者又ハ其ノ遺族ノ恩給」、斯ウアッテ、「外國人恩給ヲ含ム」、斯ウ云フコトガアルガ、サウスルト「公務員若ハ之ニ準スヘキ者」ト云フノハ、ドウ云フ資格ノモノヲ云ヒマスカ、ソレカラ「外國人恩給ヲ含ム」ト云ヘバ、外國ニ今日歸ッテ仕舞ッタ遺族ニ向ッテ、所謂扶助料ナルモノヲヤル、斯ウ云フコトニナルノデスカ

ノ恩給ニ付テドウスルカト云フ御尋デゴザ
イマスガ、是ハ兩方勤メマシタ人ノ恩給ハ
最後ノ官ヲ罷メマシタ時ニ、ソレガ宮内官
デアレバ宮内省ノ方カラ恩給ガ出テ居リマ
ス、又ソレガ國ノ官吏トシテ最終デアリマ
シタ場合ニハ、國ノ方カラ恩給ガ出テ居リ
マス、併ナガラ今地方費ト國費ト兩方ニ跨
ガリマシテ勤務イタシマシタ者ニハ、國費ト

地方費ガ其恩給ヲ分擔スルト申上ゲマシタ
ガサウ云フヤウナ分擔ノ制度ハ、今宮内省
ト國庫ノ間ニハアリマセヌ、ソレデ宮内官
トシテ十年勤績イタシマシテ、其後ニ國ノ
官吏トシテ、例ヘバ十五年勤績イタシマシ
タトスルト、罷メル時ニハ二十五年勤績ヲ

基礎トスル恩給ヲ貰ヒマスガ、ソレハ全部
國庫ガ拂ヒマシテ、宮内省ノ方カラ別ニ何
等其財源ノ繰入レガアリマセヌ、又反對ノ
場合、國ニ十年勤メマシテ、宮内官トシテ
十年勤メマシテ罷メマシタ場合ハ、宮内省ノ

方デ全部恩給ヲ負擔シテ居ラレマシテ、國
家ノ方ハ負擔シテ居リマセヌ、是ハ少シ御
質問外ニ互リマシテ申上ゲルノモドウカト
思ヒマスガ、是ニ付キマシテハ細カク申セ
バ、國ト地方費ノ關係ノヤウナモノガ起ル
譯デアリマス、其分擔ノ制度ニ付テ考ヘテ

ハドウカト云フ議モアリマシテ、何レ恩給
法ニ付テ考究スルトキニハ、其中ノ大キナ
問題デモアリマセヌケレドモ、一ツノ問題
ニナルカト思ヒマス、ソレカラ其次ノ御尋
ノ「公務員ニ準スヘキ者」ト云フノハ、何者カ
ト云フ御尋デゴザイマスガ、ソレハ准文官

トカ、准軍人、准教職員ト云フヤウナ者ヲ
申シテ居リマス、准軍人ト申シマス、見
習士官士官候補生ノヤウナ者ガ准軍人デア
リマス、又試補ト云フ者ガゴザイマス、又
判任官見習ノヤウナ者ガアタ時代モアリ
マスガ、是等ガ准文官デアリマシテ、是ガ
恩給ノ年限ニ通算セラレルコトニナッテ居

リマス、是等ハ恩給ヲ貰テ居ル者ハ無イ
ト思ヒマスガ、ソレカラ後ニ軍人ニナリ、
官吏ニナリマスルト、ソレガ何年勤績シタ
カト云フ計算ノ中ニ、試補ノ時代ヤ、見習
士官ノ時代モ、二年居レバ矢張り二年勤績
シタト云フコトデ、其中ニ數ヘラル、ト云
フコトニナル次第デアリマス

○高橋琢也君 此特別會計ノ恩給負擔金ヲ
一般會計ニ繰入ル、コトニ關スル法律案ト
云フ其理由書ニ、恩給法第十七條ノ規定ニ
依リ國庫ガ分擔スル恩給ノ支拂ニ充ツベキ
金額ヲ各特別會計ヨリ一般會計ニ繰入ル、
ノ途ヲ拓クト云フコトゴザイマスガ、サ
ウスルト是ハ十七條ノ規定ニ依ッテ國庫ガ

分擔スル恩給ノ支拂ダケデスカ、是マデハ
ソレダケガ特別會計ニナッテ居ルモノヲ、ソ
レヲ一般會計ニ入レル、斯ウ云フコトニナ
ルノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ御尋ハ、
十七條ノ規定ニ依リマシテ國庫ガ分擔スル
モノノミナラズ、一般ノ恩給全部ニ付キマ
シテ、此特別會計ノ所屬ノ職員タリシ者ノ
恩給ヲ特別會計ノ負擔ニスルト云フノガ、
大體ノ趣旨デアリマス、一ト口ニ申セバ、
ソレダケデ宜シイノデゴザイマスガ、唯言

葉ヲ正確ニ致シマス爲ニ、サウ云フ者ハ……
恩給法十七條ニ依リマシテ地方團體ガ恩給
ヲ拂ヒマスル者ノ中ニハ、先刻申上ゲマシ
タヤウニ、國ノ官吏トシテ在勤シテ居タ
者ニ付テ地方團體ガ拂タト云ヘバ、其在勤
ノ年數ニ應ジマシテ、是ハ計算ノ方法ガ恩
給法ノ施行規則ニ書イテゴザイマスガ、其
計算ノ方法ニ依リマシテ出マシタ金額ヲ地
方團體ニヤリマス、其場合ニ其官吏ガ一般
會計カラ俸給ヲ貰テ居タ者バカリデアリ
マセヌノデ、特別會計カラ俸給ヲ貰テ居
タ者モアリマス、サウ云フ場合ニハ、此特
別會計ノ官吏ニ對スル恩給ヲ特別會計ガ負
擔スルトシタ以上ハ矢張り是モ同ジ道理
デ、特別會計ガ負擔スルノガ正當デアリマ

スカラ、其分モ負擔スル、是ハ言葉ヲ正確
ニ致シマス爲ニ書キマシタモノデ、主ナル
所ハ「特別會計所屬職員タリシ者又ハ其ノ
遺族ニ國庫ヨリ給スル恩給」、是ガ主ナノデ
アリマシテ、唯ソレダケデハ言葉ガ足リマ
セヌカラ「及」トシマシテ、「恩給法第十七條
ノ規定ニ依リ國庫カ分擔スル恩給ノ支拂ニ
充ツヘキ金額」、是ガ申添ヘテアル次第デア
リマス

○高橋琢也君 サウスルト「特別會計所屬
職員タリシ者」ト云フノハ、特別會計ニ總テ
屬シテ居タ官吏、其他ノ職員ト云フ者デア
ラウト解シマスガ、ソレハ間違デアリマス
マイカ、ソレカラ「又ハ其ノ遺族ニ國庫ヨ
リ給スル恩給及恩給法第十七條ノ規定ニ依
リ國庫ヨリ分擔スル恩給」、是ハ先ニ御尋ネ
シタ地方費ト國庫ト兩方カラ拂フベキモ
ノ、分擔スルモノヲ支拂フ場合デモ斯ウ云
フ意味ノヤウニ解セラレル、ソレデ宜シイ
ノデスカ、之ヲ要スルノニ、總テ恩給ノ支
拂、扶助料ノ支拂ト云フモノハ、擧ゲテ此
法律ガ通過スレバ一般會計ニ繰入レルノデ
アル、斯ウ云フコトデスカ、サウシテ之ヲ
現ニ繰入レルノ途ヲ開ク必要アリト云フ、
此必要ト云フコトニ一番重キヲ置イテ居ラ
レルヤウデアアル、此法案ノ理由ハ……此必

分擔スル恩給ノ支拂ダケデスカ、是マデハ
ソレダケガ特別會計ニナッテ居ルモノヲ、ソ
レヲ一般會計ニ入レル、斯ウ云フコトニナ
ルノデスカ

要ト云フノハドウ云フ程度ノ必要デアアルノ
デアリマスカ、併セテ御説明ヲ得タイノデ
アリマス

○政府委員(賀屋興宣君) 大體高橋サンノ

今仰セニナリマシタヤウナ趣旨デ宜カラウ
ト思ヒマシガ、少シク詳シク申上ゲマス
只今ノ御尋ニハ斯ウ云フ風ニ御考ヲ願ッ
ラドウカト思ヒマス、此官吏ノ在職年ニ付
キマシテ、一般會計ダケデズト俸給ヲ貰
テ居リマシテ、初メカラ終ヒマデ一般會計
所屬デ罷メテ、恩給ヲ貰フ者モアリマス、
又初メカラ終リマデ特別會計所屬デ俸給ヲ
貰ヒマシテ、退官シマシテ恩給ヲ貰フ者モ
アリマス、例ヘバ初メカラ内務省ニ奉職シ
テ居ッテ内務省デ終ル、是ハ一般會計ノミ
デ、又臺灣ノ方ニ奉職イタシマシテ、臺灣
デ退官イタシマシタナラバ恩給ハ特別會計
ノミデアリマス、是ガ一番簡單ナ例デアリ
マス、其次ニハ初メハ内務省ニ奉職シテ居
テ、途中カラ臺灣總督府ニ更ナル、サウシ
テ結局退官シテ恩給ヲ貰フ、又反對ニ初メ
植民地ノ方ニ奉職イタシマシテ、後ニ一般
會計ノ方ニ奉職シテ又罷メ、斯ウ云フ者
モアリマス、其方ハ今ノ御話ノヤウニ特別
會計所屬職員ニ對スル者ト云フノニ入リマ
ス、詰リ特別會計ノミデアッタ者モ亦特別會

計ト一般會計ト兩方ニ跨ッタ者モ、此二ツノ
モノハ此言葉ノ中ニ入リマス、遺族ノ方ハ
少シ混雜イタシマスカラ、又後デ説明イタ
シマス、ソレカラ次ニモウツ考ヘラレル
ノハ、特別會計ノ所屬ノ官吏デアリ、次ニ
又一般會計ノ所屬ノ官吏ニナリ、更ニ又地
方費ノ吏員トナル、順序ハソレカラドウ狂
ヒマシテモ、其三ツニ跨リマシテ、奉職イ
タシマシテ、サウシテ退官シテ恩給ヲ貰
フ、斯ウ云フ場合ニ地方費ノ吏員デ退職ヲ
致シマス、地方團體ノ恩給ガ下リマス、
サウシテ場合ニ國ハ今マデハ特別會計、一
般會計ト云フ區別ナク、要スルニ是ハ共ニ

國庫デアリマスカラ、其國庫ノ所屬デアッタ
時代ノ年限ニ應ジテ其地方團體ニ對シテ其
幾分ヲ負擔シテ金ヲヤル、サウシテヤッテ居
リマス金ニハ特別會計ノ時代ノモノモアレ
バ、一般會計ノ時代ノモノモアリマスカラ、
ソレヲ今度ハ區別計算イタシマテ、特別會
計ニ入レル、是ガ第十七條ノ規定ニ依リシ之
ニナルノデアリマス、モウ少シ具體的ニ申
上ゲマスレバ、東京府二十年奉職ヲ致シ、
臺灣總督府二十年奉職ヲ致ス……東京府ト
申シマストチヨット例ガ惡ウゴザイマス、内
務省二十年奉職ヲ致シ、臺灣總督府二十年
奉職ヲ致シ、次ニ東京府ノ地方吏員トシテ

十年奉職ヲスル、サウシテ罷メマシタ場合
ニハ三十年勤續ノ恩給ヲ東京府ノ地方費カ
ラ貰ヒマス、サウシテ國ハ臺灣總督府ニ勤
續シタ十年ト、内務省ニ勤續シタ十年ノ二
十年プリノモノヲ其地方費ニ分擔金トシテ
ヤッテ居ル、其分擔金ノ中ニハ内務省ノ一般
會計ノ分ガ十年プリアリ、臺灣總督府ノ特
別會計ノ分ガ十年プリアリマス、ソレヲ今
マデハ區別計算シテ居リマセマシタガ、
今度ハ區別イタシマシテ、此十年分ニ付テ
ハ臺灣總督府カラ入レルコトニスル、斯ウ
云フ趣旨デアリマス、ソレカラ其次ニ遺族
ト云フノハ、是ハ言葉ノ問題デゴザイマス
ガ、特別會計所屬職員ニ對スルモノノ恩給
ト云ヒマス、其者ガ亡クナリマシテ、其
妻子ガ遺族扶助料ヲ貰ッテ居リマス場合ニ
ハ、直接入ッテ來ナイヤウナ疑ガアリマスカ
ラ、ソレデ「遺族ニ」ト斯ウ書キマシタ、是
ハ結局特別會計所屬ノ官吏ノ恩給ナノデア
ル、生キテ居ル間ハ官吏ノ恩給デアアル、死
ンダラ其遺族ノ扶助料ニナルト云フノデ、
是モ言葉ヲ正確ニスル爲ニ書キ添ヘマシ
タ、大體ソレデ御了解ヲ願ッタト思ヒマス

ガ、其次ノ御質問ノ「一般會計ニ繰入ルルノ
途ヲ拓クノ必要アリ」、是ハ此法律ヲ制定イ
タシマスル趣旨ノ特別會計ノ所屬ノ職員ニ
對スル恩給ハ特別會計デ負擔スベキモノデ
アル、斯ウ云フ所カラ參リマシテ、特別會
計ガ實質上、其負擔ニ對シテ其俸給ヲ拂ヒ
マスト同ジヤウニ恩給ヲ拂フト云フコトニ
致シマスガ、然ラバ其特別會計ガ自分デ直
接之ヲ遞信省ニ金ヲ渡シマシテ拂フカト申
シマス、ソレハ却テ面倒デアリマスカラ、
一般會計ガ纏メテ出シマシテ、遞信省デ拂
フト云フノガ實行上非常ニ便利デアリマ
ス、デ、今年ノ豫算デハ恩給ヲ特別會計ノ
負擔ニハ致シマスガ、遞信省所管ニ於テ恩
給トシテ出シマス豫算ハ、特別會計ノ負擔
ニナルモノモ、一般會計ノ負擔ニナルモノ
モ全部ノモノガ出テ居リマス、詰リ形式上
ハ一般會計ノ負擔トシテ出テ居ル、實質上
特別會計ノ負擔スベキモノハ特別會計ニ負
擔サシテ居ルノデアリマスカラ、其財源ヲ
一般會計ニ繰入レル必要ガアル、其意味デ
「一般會計ニ繰入ルルノ途ヲ拓クノ必要ア
リ」斯ウ申シタノデアリマス

○高橋琢也君

今ノ御説明デ大體分リマシ
タ
○委員長(侯爵西郷從德君) チヨット皆様
ニ御相談イタシマスガ、是デ休憩ヲシマシ
テ午後一時カラ又開クコトニ致シタイト思
ヒマス、但シ一時カラト云ヒマスガ、決算

ノ方ト重複スル方ガアリマスカラ少シ遅レ
ルカト思ヒマスケレドモ、詰リ決算ノ濟ミ
次第ト云フコトニ御承知ヲ願ヒマス

○子爵綾小路禮君 此次ニハ賠償金特別會
計法廢止法律案ニ對スル質疑ガ行ハレルコ
トト思ヒマスガ、此法案ハ現政府ノ根本政
策ニ關スル相當重要ナ法律案ト思ヒマスノ
デ、大藏大臣ニ御出席戴クコトガ質問者ニ
取ッテ便宜ダト思ヒマス、御取計ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○子爵大河内輝耕君 私モテヨト述ベテ
置キマス、贊成デス、サウ願ヒタウゴザイ
マス、併シ御忙シイト思ヒマスカラ、次回
ニ限ッテ御出デヲ願フト云フコトモ無理ダ
ラウト思ヒマス、其必要ノ都度御願ヲスル
コトニシタイト思ヒマス

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ休憩
イタシマス

午後零時一分休憩

午後二時十九分開會

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ只今
カラ委員會ヲ開キマス、サウスルト製鐵所
特別會計法改正法律案、是ノ質問ニ移リマ
ス

○高橋琢也君 製鐵所ニ付キマシテハ、此

法案ニ關シテ御尋ネシマスカ、先般來製鐵
所ヲ他ノ民間ノ製鐵所ト合同シヤウト云フ
問題ガエライ盛ニニアッタヤウデゴザイマ
スガ、何ンダカ此頃合理局ヲ顧問會議ガア
テ、ソレデハ遂ニ斷念スルト云フコトニナ
タ、斯ウ云フヤウデスカ、先ヅ以テ此案ノ
成否竝ニ其所謂經緯ヲ簡明ニ一ツ聽カシテ
戴キタイ次第デス

○政府委員(中井勲作君) 御答ヘ致シマス

ガ、製鐵業ノ合同ト云フコトハ先般來政府
ニ於テ種々調査審議ヲサレテ居ルノデゴザ
イマスガ、ソレハマダ何トモ決定イタシテ
居リマセヌノデゴザイマスカラ、其内容ニ
付テハ私ヨリ詳シク申上ガ兼ネマスノデゴ
ザイマスガ、此問題ニ付テハ其合同問題ト
ハ別段關係ガ無いノデゴザイマス、是ハ製
鐵所特別會計法ノ第二條第二項ノ六千万圓
ヲ七千万圓ニ改メルト云フ案デゴザイマス
ガ、製鐵所ノ特別會計法ノ第二條第二項ニ
ハ、製鐵所ニ於テ運轉資金ニ充ツル爲必要
アルトキハ最高六千万圓ヲ限度トシ公債ヲ
發行シ又ハ借入ヲ爲スコトヲ得、斯ウ云フ
規定ニナッテ居リマシテ、其運轉資金ガ今
日ノ狀況デハ更ニ一千万圓ダケ増額ノ必要
ガアルト認メマシテ、此改正案ヲ提出イタ
シタノデゴザイマス、デ簡單ニ從來ノ經過

ヲ申上ゲマスレバ、作業特別會計法ノ時代
ニ於キマシテハ、製鐵所ノ運轉資金ハ九千
八百万圓マデハ借入レルコトガ出來ルコト
ニナッテ居リマシテ、其當時ニ於テハ國庫ノ
餘裕金ヲ利息ナシニ融通シテ賣ッテ作業ヲ
續ケテ參リマシタノデゴザイマス、大正十
五年ニ此法律制定當時ニ於キマシテハ五千
五百万圓ダケヲ國庫餘裕金カラ融通シテ
賣ッテ居、タノデゴザイマス、其當時此法律
制定ニ當リマシテ、製鐵所ノ事業ヲ遂行ス
ル爲ニハドレダケノ運轉資金ガ適當デア
ルカト云フコトヲ、大藏省、商工省デ種々攻
究イタシマシテ、六千万圓モアッタラバ適當
デナイカ、又成ルベク其範圍内デ融通資金
ヲ使用スルヤウニト云フヤウナ積リヲ以チ
マシテ、此法律ガ制定サレタノデゴザイマ
ス、其當時ニ於ケル製鐵所ノ作業ノ規模ハ、
鋼材七十五万噸ヲ生産シテ市場ニ出スト
云フ豫定デゴザイマシテ、其頃丁度七十三
四万噸ヲ生産イタシテ居、タノデアリマス、
其後段々生産規模ガ擴大イタシマシテ、昭
和三年四年ニハ何レモ百万噸以上ノ生産ヲ
致シタノデアリマスガ、其様ニ生産ノ規模
ハ擴大イタシマシテモ、其當時ニハ經濟界
ノ狀況ガ御承知ノ通り都合好ク運ンデ居リ
マシテ、從テ製品ノ販賣ト云フヤウナモノ

ガ都合好ク動キマシタノデ割合ニ少イ資金
ヲ融通シテ參ッテ居、タノデアリマス、所デ
昨年ニナリマシテカラ、御承知ノ通り急
ニ市況ガ悪クナリマシテ需要モ減リマス
ルシ、又私共ノ製鐵所ノ製品ノ賣行モ、急
激ニ縮小シナケレバナラヌコトニナリマシ
タ結果ト致シマシテ、段々原料及製品ノ
貯藏ガ殖エテ參リマシタノデゴザイマス、
既ニ御手許ニ差出シテ居リマス昭和四年
末ノ仕掛品及製品ノ増加約二千六百万圓ニ
ナッテ居ルノデゴザイマスガ、其後原料、仕
掛品、中間品、製産品等ノ段々今日マデ溜
リマシタモノガ、約二千七百万圓バカリニ
ナッテ居ルト記憶イタシテ居リマス、デサウ
云フ結果ト致シマシテ、今日ニ於テハ既ニ
此法律ノ運轉資金借入限度ノ六千万圓ニ達
シテ居ルノデゴザイマス、今後ニ於キマシテ
ハ私共ノ積リト致シマシテハ、モウ既ニ昨
年二度モ減産ヲ實行イタシマシテ、ソレデ
生産モズト減ジマシテ、市場ニ出マスルモ
ノヲ内輪ニ作りマシテ、サウシテ徐々ニ貯
藏品ヲ減シテ參リマシテ、運轉資金ノ運用
ヲ圓滑ニシテ參リタイト存ジテ居ルノデゴ
ザイマスガ、併シ既ニ六千万圓ニモ今日達
シテ居リマシテ、今後色ニ都合ノ惡イ場
合ヲ想像イタシマスレバ、此儘ニシテ參リ

マシテ、從テ製品ノ販賣ト云フヤウナモノ

マスコスト不安ヲ感ジマシテ、更ニ一千万圓ノ運轉資金借入ノ限度ノ擴張ヲ願ヒマシテ、サウシテソレニ依テ購買代金又ハ多數従業員ノ給與ノ支拂ニ支障ナキヤウニ致シテ参リタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘマシテ、此改正案ノ企テヲ致シマシタノデゴザイマス、ソレデ只今製品ノ在庫ハ二十一万噸餘ニ達シテ居リマシテ、之ヲ急激ニ市場ニ出シマスレバ、漸ク最近ニハ鋼材ノ市況モ安定イタシマシタガ、ソレニ大ナル刺戟ヲ與ヘマシテ一般ヲ混亂セシムル虞レモゴザイマス、今後ノ作業ノ都合ト致シマシテハ、市場ニ出マスルモノヲ内輪ニ作りマシテ、サウシテ漸次在庫品ヲ減ジテ参リマス、斯ウ云フヤウニ致シマシテ成ルベクハ一千万圓ノ殖エマシタ金額ノ借入ヲ少クシテ、六年後ノ作業ヲ續ケタイト云フヤウニ希望イタシテ居リマスル次第デゴザイマス、大體御答申上ゲマス

○高橋塚也君 最初ニ御尋ネシタ製鐵合同問題ハ是ハ長イ問題ニナッテ居ルヤウデアノデス、ノミナラズ現在ノ御取扱上デハ産業合理局ノ顧問會議ガアッテ遂ニソレハ斷念スルト云フヤウナコトニナッタト云フコトデアッテ、値段ガ安イ……例ヘバ向ウノ買入値段ガ高イトカ、製鐵所ノ方ノ賣拂

値段ガ高イトカ、安イトカ、何カ雙方ノ意見ガ一致シナイノデ出來ナイノデアラウカトモ察セラレ、又一面カラ云フト政府ノ方ト民間ノ方トノ條件ガナカノ面倒デア、ソレ故ニ容易ニ是ガ出來ナイト云フコトデアリマス、細カイコトハ無論立入ッテ伺フ譯デモナシ、又御話ナサレキタイデセウガ、併シ大體ニ於テ是ハソコラニ行違ヒガアル、或ハ其行違ハ話セナイケレドモ、遂ニ斷念スルト迄ナッタコトデアレバ將來チヨット見込ハナイ、斯ウ云フヤウナコトハ御話ガ出來得ルダラウト思フ、ナゼ之ヲ私ガ伺フカト云フノニ、茲デ資金ヲ更ニ増加シテ行カナケレバナラス、資金ヲ増加スルト云フコトノ此法案ガ出來ル前ニハ、合同問題ガ成リ立ツモノデアラウト見越シテ出來タモノダラウト私ハ推測ヲ致スノデスガ、サウデナク前カラ逆モ是ハ合同ハ出來ナイ、ソレヲ見越シテ此増額案ヲ立テタノデア、斯ウ云フコトデアルト初メカラ此合同ハ出來ナイ問題デア、サウスレバ遂ニ是ハ民間ノ製鐵業者ト合同モ出來ズ、ソレナラト云ウテ他ニ之ヲ賣拂フ、例ヘバ三井ナリ三菱ナリ大會社ニ之ヲ賣拂フトカ、少クトモ大キナ資財ヲ運轉シ、且ツ此仕事ヲヤリ得ル人間ヲ備ヘテ居ル所ヘ賣渡シヤ

ウナ法案ガアルト云フノデアレバ、之ヲ伺ハレ、バ其邊成ルタケ伺ヒタイ、サウデナイト是ガ今日一千万圓ヲ増シテ、而モ一千万圓増シタモノガドレダケノ増シタ爲ニ利益ガアルカ、今私ガ伺フノハ將來遂ニ合同問題ガ成リ立タズ、又民間ニ賣拂フト云フ考モ無イ、斯ウスレバドコ迄モ政府ハ之ヲ維持シテ行カナケレバナラス、維持シテ行ク日ニハ今ハ差向キ此年度デ一千万圓ヲ増スケレドモ、來年ハ又一千万圓或ハ五百万圓ヲ増サナケレバナラスト云フヤウナコトガ起リハセヌカ、サウシテ遂ニヤリ切レナクテ之ヲ民間ニ賣拂フ、ソレハ持切レヌカラ賣拂フトキニハ一東三文ニナルコトハ分ッテ居ル、サウ云フヤウナ結果ニナルノデハナイカ、コ、ガ甚ダ私等ノ懸念スル所デアノデス、ソレデ合同問題カラシテ今ノ製鐵所ヲ遂ニドウ云フヤウナ所ニ是ガ落ち著キガ出來ルノデア、所謂結論ヲシタラバ斯ク斯クノ結論ニ達スル見込デア、斯ウ云フコトガアラウ、ソレガ一ツ承ハリタイ、ソレカラ一千万圓ト云ヘバ大變大キナ問題デア、此不景氣ナトキニ私ハ政府ハ思ヒ切ッテ之ヲ一千万圓ヲ増スト云フニ至ッタノハ餘程將來ニ見込ガアルト思ッテ増シタモノデアラウト思ヒマスガ、漫然増シ

タモノデナイト云フコトモ想像ガ出來得ルノデア、ソレカラ現ニ救護法ガアレ程大事ナモノデアッテスラ僅ニ三百万圓ヲ國庫ガ出サウト云フノニ競馬法マデモ改正シテ、サウシテ此中カラ收穫ヲ殖ヤシテ、ソレヲ救護法ノ財源ニ用キル、而モソレハ七年ノ一月カラデアアルト云フヤウナコトデアッテ見レバ、製鐵所ノ此一千万圓ノ増加ト云フモノハ非常ナ大キナ金額トナル、現内閣ノ所謂緊縮政策ノ上ニハエライ他ニ響キノ生ズルモノデアラウト斯ウ考ヘマス、ソレデ且ツ是マデノ融通ノ六千万圓ト云フモノハ無利息デ政府カラ出シテ居ルヤウニ承ハッテ居ル、是ハ間違ッテ居ルカモ知レナイガ、此六千万圓ト此一千万圓、是モ矢張り無利息デ政府ガ出ス、所謂融通スルト云フコトニナル、融通シテ、是マデノ收支計算ハドウ云フヤウニナッテ居リマスルカ、現在在庫品ガ澤山アルト云フ先刻ノ御話ニア、サウシテ今日ハ非常ニ不景氣……他ノ大臣ノ言ハレル所ヲ聽ケバ他ノ方面デハソレ程不景氣デナイヤウニ思ハレルノニ、此製鐵所ノ此法案ニ對シテ最初カラ出テ居ル所デハ、既ニ此理由書ニアル通りニ「近時經濟界不況ノ爲」、是ガ主ニナッテ居ル、此爲ニ

模ノ擴張ニ伴ヒ運轉資金ニ不足ヲ生シタル」
是ガドウ云フコトデアルカ、是程ニ經濟界
ガ不況デアアルノニ拘ラズ生産ノ規模ノ擴張
ヲナサレ、ソレニ伴ヒテ運轉資金ガ要ル、
チヨット平仄ノ合ハナイヤウニ見ラレル、
矛盾ガアルヤウニ見ラル、是ハドウ云フ
譯デゴザイマセウカ、先ヅソレダケヲ一ツ
伺ヒタイ

○委員長(侯爵西郷從德君)

高橋サン、中
途デゴザイマスガ、御忙シイ所ヲ法制局長
官ガ御見エニナリマシタカラ、チヨット製鐵
所ノ方ヲ待ッテ戴イテ……

○高橋琢也君

サウデスネ、ソレデヤ此御
答辯ハ後へ廻シテ置イテモ宜シウゴザイマ
ス

○委員長(侯爵西郷從德君)

サウ願ヒマス
○高橋琢也君 ソレデハ此特別會計ノ恩給
負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルト云フ此法律
案ニ對シテ御尋ヲ致シマス、私ノ伺ヒタイ
ノハ、先キニ首相代理ガ恩給法ヲ改正シ
テ、サウシテ其恩給法ノ改正スル爲ニハ、
ソレダケノ取調べモシナケレバナラスシ、
追ミ其時節ニ向ッテカヲト云フヤウナ御話
ガアッタ、ソレニ對シマシテ、政府デハ現在
恩給ノ整理ヲナサル、是ハ文官ニモ限ラス
デスガ、一體行政整理ヲナサル、ソレニ伴

ウテ恩給ノ整理モシナケレバナラスト仰シ
ヤルヤウナ御口振リデアッタ、サウスレバ此
恩給ト云フモノノ整理案ヲ今是カラ御調査
ニナラウト云フ、然ルニ五年度ニ於テ恩給
調査費ト云フモノガ確カ三万五千四百二十
六圓ト云フモノガアル、ソレヲ政費節減ノ
結果、繰延ベセラレタリ、減額、節約セラ
レタリト云フヤウナコトデアッタデセウ、確
カ減額ヲセラレタ、サウスルト此恩給整理
ノ調査費ト云フモノガアル以上ハ、調査ハ
シテ御出デニナッタノダラウト思フガ、其調
査會カラ一回ナリ二回ナリ三回ナリ答申ガ
アッタラウト思ヒマスガ、ソレハマダゴザイ
マセヌノカ、或ハゴザイマシタラ、下ノ程度
ノモノガ出來マシタノデアルカ、尙ホ今後
新タニ此調査會ヲ擴張スルトカ、増員スル
トカ云フヤウナコトニナサッテ、新シイ案ヲ
御立テニナルカ、ソレガ爲ニハ是マデノ費
用デハイイカナイ、サウスレバ今回ハ大分權
威ノアル調査會ニシテ、サウシテ何時々々
マデニハ其成案ヲ得ル見込デアアル、無論又
文官恩給、軍人恩給、ソレカラハ他ニ茲ニ
現ニアル通りノ公務員トカ之ニ準ズベキモ
ノ、遺族ノ恩給支拂ニマデモ、是ニ關係シ
テ居ルヤウナ、是等ガドウ云フヤウナコト
ニナル御見込デゴザイマスガ、文官ノ恩給

軍人ノ恩給、之ヲ整理スレバ確カニ相當ナ
財源ガ政府デハ出ルノデゴザイマセウ、サ
ウスレバ是ハ行政整理ト別ニオヤリニナル
ノデアルカ、行政整理ノ委員ニ於テ一緒ニ
オヤリニナルノデアルカ、何レニシテモ、
行政整理ト云フモノハ今回ハオヤリニナル
ト云フ此間御話ガアッタ、デ行政整理ト恩給
トハ相俟ッテ居ルヤウナ御話デモアッタカ
ラ、ソレハドウ云フヤウナ政府デ御見込ニ
ナッテ居リマスガ、之ヲ大體ニ私ハ伺ヒタイ
ト思ッテ御苦勞ヲ願ッタルノデス

○政府委員(賀屋眞宣君)

只今ノ御尋ノ中
ニ、法制局長官ノ御答ニナリマス前ニ、チ
ヨット恩給ノ調査費ノ豫算ノコトヲ御話ニ
ナリマシタ、先キニ一言ソレヲ申上ゲテ置
キマス、高橋サンノ御話ニナリマシタ恩給
ノ調査費ト申シマスノハ、恩給制度ヲドウ
スルト云フ爲ノ調査費デハアリマセヌノ
デ、只今ノ議案ニナッテ居リマス、特別會計
ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルトニ
關スル法律案、之ニ依リマシテ本年ノ豫算
ニ約一千餘萬圓ノモノヲ特別會計カラ一般
會計ニ繰入ルルトニナッテ居リマス、サウ
シテ其金額ヲ……参考書ニモ差上ゲテ置キ
マシタ、各會計幾ラトズット差上ゲテアリ
マス、合計一千百萬圓、之ヲ調べマス爲ニ

今ノ經費ハ取ッテアリマス、是ハ一々各人ニ
付キマシテ其履歷書ニ依リマシテ此人ハイ
ツカライツマデドノ特別會計ニ居ッテ、イツ
カライツカ迄一般會計ニ居ッテト云フコト
ヲスッカリ調べ上ゲマシテ、其罷メル時ノ俸
給ハ幾ラデアラカラト云フコトヲ一々計算
ヲ致シマシテ、從ッテ特別會計ガ幾ラ負擔
シ、一般會計ハ幾ラ負擔スル、ソレヲズット
調べマシテ、サウシテ各會計毎ニ負擔スベ
キ金額ヲ積算イタス、是ハ非常ナ手數ヲ要
スル、其調査ノ爲ニ取リマシタ經費、ソレ
ガ今度ノ豫算デ減ッテ居リマスノハ、ソレハ
初メ一度調べマスト云フト後ハ段々ト追加
的ノ訂正のナ調査ダケ致セバ宜イト云フ爲
ニ、今度今後ハ少イカラ多分一萬圓足りナ
イ位デアッタト記憶シテ居リマス、其位ノ金
デ直シテ行クト云フデアリマス、只今御
話ニナリマシタモノハ將來ノ恩給制度ヲド
ウスルト云フ調査費デハアリマセヌデ此特
別會計ノ負擔額ヲ決メマス極メテ事務的ナ
計算ノ仕事ノ爲ノ調査費デアリマス、一般
ノ制度ノ改正ノ爲ノ調査費ハ今迄ノ豫算ニ
ハ、五年度ノ豫算ニハ這入ッテ居リマセヌ、
チヨット一言申上ゲテ置キマス

○政府委員(川崎卓吉君)

將來ノ恩給制度
ヲドウスルカト云フヤウナコトヲ先頃ノ施

政方針ノ演説ニ付テノ御尋デアッタヤウデアリマス、恩給ノ殖エル歩合ハ今日元程ニモナイノデアリマスガ、年々二三百萬圓宛殖エテ居リマス、總額デハ一億三千六百萬圓ト云フ風ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ何トカ考ヘナクテハイカヌト云フコトハ多年ノ懸案デアッタノデアリマスガ、何分事柄ガ非常ニ複雑デアリマスルシ、其改正ト云フコトハ非常ニムツカシイ點モアルノデ、今日迄マア延ビテ居ッタノデアリマス、併シ何時迄モ之ヲ放任スルコトガ出来マセヌノデ是非一ツ之ヲ改正イタシタイト云フノデ、現時モ行政刷新會ト云フモノヲ作りマシテ恩給制度ニ付テ今調査イタシテ居ルノデアリマス、未ダ成案ハ得マセヌノデアリマスガ、下調べヲ今致シテ居リマス、ソレデ御尋ノ如ク明年度ニ於キマスル行政整理、行政財政ノ整理ノ委員會ガ出来マシタナラバ其委員會デ是非之ヲ一ツ成案ヲ得タイト云フ積リデ居ルノデアリマス、此改正、制度ヲ改正シテ相當ナ財源ヲ得ルデアラウト云フ御話モアリマシタヤウデアリマスガ、勿論改正ノ目的ハ相當餘リ此國庫ノ負擔ガ殖エナイヤウニト云フ意味、目的ヲ以テ調べテ居ルノデアリマスケレドモ、併シ年限ヲ見マスレバ一時賜金ガ多クナル關係モアリ

マスノデ、制度ヲ改正シタカラ直グ國庫ノ負擔ガ減ルト云フ譯ニモ或ハ行カヌカモ知レマセヌ、遠キ將來ノ事ヲ考ヘマシテ急激ナル負擔ノ増加ガナイヤウニト云フコトヲ致シタイト云フ目的デ明年度ニ於キマスル行政整理ノ委員會デハ是非成案ヲ得タイト、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマスノデ、先般ノ首相代理ノ施政方針演説ニ載ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○高橋琢也君 是ハ大藏省ノ政府委員ニ御尋ニスレバ分ルノデアリマスガ、此恩給法第十七條ノ規定ニ依ッテ國庫ノ負擔スル云ト云フノハ是ハ前ニ言フタモノトハ違フノデスネ

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ御質問チヨット了解イタシ兼ネル所モアリマスガ、是ハ今問題ニナッテ居リマスル特別會計ノ其方ノ規定デハナイノデアリマス、是ハ地方費ト國費ト兩方カラ俸給ヲ受ケテ居リマス者ノ恩給ニ付テ國庫、地方ハドウ負擔ヲスルカト云フコトヲ決メマシタ、併ナガラ此規定ノ趣旨ニ從ヒマシテ之ヲ今度特別會計ト、一般會計ノ負擔ヲ定メルノニ矢張りソレヲ用キテ行カウ、是ハ何レ施行ノ勅令ヲ出シマス其際ニ十七條ヲ準用スルトカ何トカ云フヤウナ兎ニ角同ジ趣旨ノ規定ガ要リ

マス、唯計算方法ガ同ジト云フ意味デアリマス

○高橋琢也君 今法制局長官ノ御答辯ニ依テ其大體ハ分リマシタガ、文官ノ恩給ト武官ノ恩給ト取扱ハドウナッテ居リマスルカ、總テ恩給局デ今取扱ッテ居テ、武官ノ恩給ト云フモノモ文官ノ恩給ト云フモノモ同一官廳デ又取扱モ一緒ニナッテ居ル、斯ウ云フノデゴザイマセウカ、ソレカテ軍人ノ遺族ニ對シテ恩給デナク、恩給ニハ當ラナイガ特別ニ、例ヘバ日清、日露、世界大戰、此三大戰役ニ出征シタ者ナドノ遺族ニハ達シテ居ラヌケレドモ、此遺族ノ生活ハ保障シナケレバナラス、安定サセテヤラヌケレバナラスト云フヤウナコトガアルト思ヒマスガ、ソレニ對シテ給與ナドハドウ云フヤウナ御披ヒニナッテ居リマスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ御尋ノ前段ノ方ノ軍人ニ對スル及ビ文官ニ對スル恩給ト云フモノハ、恩給局デ一ツノ官廳デ處置シテ居ルカト云フ御尋ハ左様デゴザイマス、恩給局デヤッテ居リマス、ソレカラ後ノ御話ニ付キマシテハ極ク部分的ノ事ダケ申上ゲマス、詰リ戦死者ニ對スル増加恩給ニ付キマシテ、大正十一年ノ恩給法ノ改正ノ

時ニモ、尙ホ其率ヲ良クスルヤウニ改正イタシマシタ、以前ヨリハ優遇サレルコトニナッテ居リマス

○高橋琢也君 今ノ御答辯ノハ恩給ニナッテ居ルノヤウデアアルノデスガ、私ガ伺ッタノハ法規ニ依ッテ所謂恩給法ニ依ッテ恩給若クハ扶助料ヲヤッテ居ルノデハナイ、恩給モマダ年限ニ達シテ居ナイ、出征シタ軍人デアアルケレドモ戰地デ所謂戰歿シタ者、或ハ病氣デ、或ハ重傷デ歸ッテ亡クナッタ者ト云フヤウナモノノ遺族デス、是ハ各國ノハ是等ニ對シテモ隨分手厚イナニガアルヤウデアリマスガ、日本ノハ所謂廢兵ニ向ッテモ總テ之ニ手薄デアアルヤウデ、隨分廢兵ガ困難シテ居ルヤウナコトヲ常ニ請願ノ出テ居ルノヲ見テモ分ッテ居リマス、私ノ伺ッタノハソレヲ言フノデアリマス、其恩給法ニ係ラナイ者ノ遺族ニ對シテ、アノヤウナ大戰役ニ出タモノノ遺族ニ對スル給與ハドウ云フ御披ヒニナッテ居ルカ、之ヲ伺ッテ居リマス

○政府委員(賀屋興宣君) 戰爭ニ参加シ、從軍ノ結果死没致シマシタ者ニ對シテハ皆年金、恩給ガ參ッテ、其遺族ハ遺族扶助料ヲ受ケテ居リマス、併ナガラ戰爭ニ參リマシタリ、其外公務ニ甚イテ負傷ヲ致シマシタトカ、或ハ病氣ヲ致シマシタヤウナ者デ恩

給法ノ規定デハ年金ヲ毎年々々一定ノ金額ヲ貰ヒマス、併ナガラ年金ヲ貰フ程度ニハマダナテ居ラヌ者ガ相當ナ負傷ノ爲ニ身體ノ或ル部分ニ缺陷ガ生ジマシテ、サウ云フ状態ノ者ニ對シテハ傷病賜金ヲ給與スルコトニナテ居ル、所ガ傷病賜金ヲ一度貰ヒマシタ後其病狀ガ負傷或ハ病氣ノ原因ノ爲ニ、後ニ段々ソレガ悪クナリマシテ遂ニ年金ヲ貰フ程度ニ達スル場合モアリマス、ソレハ今ノ恩給法デハ其救濟規定ガアリマシテ、其原因ガ明カナ場合ニハ更ニ審査ラシテ年金、恩給ヲ給サレルコトニナテ居ル、併ナガラ其因果關係ガハッキリ致シマセヌ時ニハ年金ノ程度ニ達シナイ、一時賜金トシテ傷病賜金ヲ貰ヒマス、ソレデ宜カク者ガ段々後ニ悪クナッタト云フ場合ニ果シテソレガ前ノ戰爭ノ負傷或ハ病氣ガ原因デアルトカ云フコトガ分カラナイ、サウ云フ者ニ付テハ或ハ當人ノ方デハ是ハ戰爭ニ原因シタモノデアアル、斯ウ考ヘテ居ル人モアル、併ナガラ恩給局ノ方デソレヲハッキリサウ決定スル資料モナイト云フヤウナ人ミニ於キマシテハ始終色ミ請願ガアル、ソレニ對シテハ是ハ國家ノ爲ニサウ云フ一種ノ犠牲ニナッタ人デアアル、相當ノ處置ヲ執ラナケレバナラスト云フコトハ常ニ問題ニナテ

居リマス、併ナガラ今申上ゲタヤウニ果シテソレガ原因デアアルカドウカ分カラナイヤウナ者モアリマスシ、之ヲドウ云フ風ニ待遇シタラ宜シイト云フコトハ問題ニハナッテ居リマスガ、マダ之ヲ解決シマシテ、其解決案ヲ此議會ニ御諮リスル程度ニハマダナテ居リマセヌ

○高橋塚也君 例ヘバ獨逸ヤ墺國ノヤウニ非常ナ大戦敗國デモ、斯ウ云フ者ニ對シテハ所謂廢疾ダトカ負傷シタト云フヤウナモノニ依テ來タモノハ無論ナンデアリマス、其軍人ノ遺族、若クハ病氣デ生活ガ出來ナイト云フヤウナ者ハ勿論ノ話デアリマス、是マデ相當ノ收入ガアツテスラ或ル程度マデハ政府デ給與ラシテ居ル、勿論御承知ノヤウニ獨逸ニハ日本ノ金ニ直スト千八百圓マデノ收入ガアツテモ生活ガ困難デアルト云フナラバ、其收入ヲ限度トシテ矢張り相當ナ手當ラシテ居ル位デゴザイマスカラ、其金ハ大變澤山ナモノデ大キナモノデス、ソレデアアルカラ、日本ノハ是マデドウモソコラガ行届イテ居ラヌヤウデゴザイマスカラ、今回ノ恩給法ノ御調査ガアルノヲ幸ニ、只今政府委員カラノ御答辯ヲ承テ見ルト云フト、ドウモコ、ラガマダ確ト定マテ居ラナイト仰シヤルヤウニ聞エマス、是ハ誠

ニ憫然ナ次第デゴザイマスカラ、ドウカ政府デ今回恩給調査委員デモ御持ヘニナレバ、斯ウ云フ者ニ向テ十分ナ御取調ガアツテ、出來ル限りノ御手厚イ給與ヲ爲サルト云フ精神ヲ以テ御取調ノアラムコトヲ希望致シマスル、幸ニ政府ノ代表者ノ法制局長官ガ御出デニナリマスカラ、私ノ希望ヲ茲ニ申上ゲテ置キマス、而シテ法制局長官ハ私ハモウ是デ宜シウゴザイマス、御多忙中デスカラ、他ニ何かゴザイマスレバ別問題デアリマスガ、私トシテハ是デ終リマス、御苦勞デゴザイマシタ

○委員長(侯爵西郷從德君) 賠償金特別會計法、廢止法律案ノ方ニ移リマスカ、又製鐵所ノ方ニ……

○高橋塚也君 サウデゴザイマスナ、マダ御ヤリニナリマスカ、ドウデス

○委員長(侯爵西郷從德君) 速記ヲ止メテ〔速記中止〕

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデヤ製鐵所ノ方ノ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(中井勵作者) 先程ノ高橋サンノ御尋ニ御答イタシマスガ、先刻私ガ此改正案ノ趣旨ヲ申上ゲマシタノガ、少シ言葉ガ不十分デ、此改正案ノドウ云フ趣旨デ改正スルカト云フコトガ高橋サンノ御了解ヲ

得テ居ナイヤウニ存ジマスカラ、重ネテ簡單ニ申上ゲマスガ、御承知ノ通り事業ヲ遂行イタシマスルノニハ澤山ノ原料ヲ買込ミマスルシ、又製鐵事業ニ致シマス、石炭ガ一番餘計要ルノデゴザイマスカラ、斯ウ云フモノヲ買込ミマシテ、サウシテソレ種々ノ工程ヲ經マシテ、サウシテ之ヲ製品ニナシマシテ、或ハソレニ又運賃ヲ掛ケマシテ、市場ニ出シテ賣リマシテ、サウシテ代金ヲ得ル、斯ウ云フヤウナ順序ニナルノデゴザイマスガ、ソレニハ品物ヲ買ヒマスト、直グソレニ代金ヲ拂ッテ行カナケレバナラヌ、ソレカラ仕事ヲ致シマス、職工ニソレニ對スル給與ヲ致サヌケレバナラヌ、運賃ヲ拂ヒマシテ、サウシテ漸ク製品ニナリマシテカラ、市場ニ持出シテ賣リマシテ、サウシテ代金ヲ收入スルト云フコトニナリマスノデ、ドウシテモ此期間資金ガ茲ニ寢マス、ソレデ其爲ニ茲ニ相當ノ額ノ運轉資金ガ入用ニナルノデアリマス、殊ニ製鐵所ト致シマシテハ、御承知ノヤウニ日本ノ製鐵業ノ地理的ノ狀況ニ鑑ミマシテ、鑛石其他ノ材料ヲ外國カラ取ッテ居ルノガ多ウゴザイマスカラ、斯ウ云フノハ只今ノ所デハ一ケ年分以上ヲ貯藏致シテ居リマス、ソレガ鑛石ダケニ致シマシテモ、只今百八十四

万噸貯藏致シテ居リマシテ、之ヲ今日ノ買入レノ代金ニ致シマスレバ、約千六百萬圓バカリニナルノデアリマス、所ガ資金ガ此仕事ノ性質トシテ、又日本ノ八幡ニ於ケル製鐵所ノ事業ト致シマシテ、ソレダケノモノヲ寢カシテ居リマスカラ……其以外ノモノニモ尠カラヌ運轉資金ガ要リマスノデ、ソレデ今日六千萬圓ノ限度マデ借リテ居リマスガ、其中ニハ今ノ千六百萬圓モ日本ノ事情ニ鑑ミテ寢テ居ルモノモ、矢張り此中ニ加ハテ居ルモノト御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレニ對シテハ以前ハ國庫ノ餘裕金ヲ無利子デ借リテ運轉資金トシテ使ハシテ貰テ居リマシタガ、段々此事業モ進ンデ參リマシテ、大正十五年ニ獨立シタ會計ニナリマシタ、其後ハ一切運轉資金ハ利子ヲ拂テ借入レルコトニ致シマシタ、今日デハ年利五分五厘ノ利子ヲ拂テ居リマス、ソレデ是ハ國庫カラソレダケノ支出ヲ仰グノデアリマセズデ、此特別會計ノ負擔ニ於テ借入レテ居ルノデゴザイマス、ソレハ預金部カラ借入レマスカ、或ハ又日本銀行カラ借入レマスカ、何レカノ方法ニ依テ借入レテ、此運轉資金ヲ動カシテ行ク、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是ハ私共ノ方ノ算盤ト致シマシテハ出來ルダケ借入金ハ少イ

方ガ宜シイノデアリマス、ト申シマスノハ、六千萬圓借入レマス、五分五厘ノ利子ハ年利三百三十萬圓ヲ拂ハナケレバナラス、ソレニ更ニ一千万圓ヲ借リマス、年利五十五萬圓ヲ餘計拂ハナケレバナラス、是ハ製鐵所ノ獨立シタ會計ノ下ニ支辨シナケレバナラスノデアリマスカラ、出來ルダケ少イ方ガ宜シイノデアリマス、併シ今日ノヤウニ荷ノ動キガ悪クナリマス、サウシテアルダケノ規模ノ仕事ニ致シマス、材料ヲ差上ゲテアリマスルヤウニ、毎日働イテ居リマスル勞働者ダケデモ三萬人ゴザイマシテ、之ニ毎月給料ヲ拂ヒマスシ、ソレデ色々仕事ヲ致シテ居リマスノガ小規模ノ仕事ノヤウニ數日後ニ註文ノ品ヲ造テ、サウシテ出來タナラバ、直グソレガ代金ニ替テ來ルト云フヤウニハ參リ兼ネルノデアリマスカラ、ドウシテモ斯ウ云フ不況ノ際ニハ品物ガ溜リ勝チニナリマスシ、勿論サウナリマス、成ルベクソレニ應ズルヤウニ計畫ヲ變ヘテ參リマスケレドモ、サウ身輕ニ行カナイ爲ニ、ドウシテモ茲ニ品物ガ溜テ來タリ、資金ノ手違ヒガ起リタルコトガアリマスノデ、斯ウ云フコトヲ企テマシタノハ既ニ六千萬圓一杯借リテ居ル、今後ニ於テ若シ手違ヒガアツタ時ニ、品物ノ代金モ

滞リ、職工ノ給料ヲ支拂フノニ非常ニ困難ガアツテハ相濟マヌト存ジマシテ、此限度ヲ擴メテ參リマシテ、サウシテ……成ルベク私共トシテハ借入ヲ少クシテヤツテ行キタイト云フコトニナリマスノデ、之ヲ借入レマスレバ借入レマスダケ、私共ノ方ノ損益計算カラ言ヘバ、損ニナリマス、ソレデ出來ルダケ用意ダケ致シテ置キマシテ、借入ハ少ク致シタイト存ジテ居リマスガ、併シ今後ノ模様ニ依テ、又將來是ダケデ宜イカ、之ヲ擴メナケレバナラスコトガ出來ハシナイカト云フコトニナリマス、將來ノ見込ニナリマシテ、只今ノ所ハ何トモ申上ガ兼ネマスガ、サウ云フヤウナ趣旨デゴザイマス、ソレデ其生産ノ規模ノ擴大ニ伴テ増スト云フノハドウ云フ譯カト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ今申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ於テ、仕事ヲ致シテ行キマス、先ヅ支拂フ方ガ先キニナツテ、サウシテ出來タ品物ノ代金ガ遅クナリマスカラ、矢張りソレデ仕事ガ多ケレバ多イ丈、動キ方ガ同ジトスレバ、ドウシテモ運轉資金ハ餘計要リマス、ガ併シ昭和三年、四年ノ如キハ今日ヨリモ却テ仕事ノ分量ガ多ウゴザイマシタケレドモ、其時ニハ幸ニ殆ド荷物ガ溜ルコトガナク、工場デ出來マシタモノハ直

グ船ニ積ミマシテ東京ナリ大阪ニ持テ參リマシテ、直グ代金ガ入テ來ルト云フコトデ、幸ニ三、四年ノ頃ハ運轉資金ノ借入モ少ナクテ濟ミマシタ、今日又外ノ點カラ申シマスレバ、是ダケ借入レマスケレドモ、是ガ都合好ク行ケバ今後ハ又私共ノ造リマシタ品物ガ動キガ少シ良クナリマシタナラバ、ドンム賣レテ參リマスノデ、成ルベク利子ノ附ク金ハ長ク置カヌ方ガ宜シウゴザイマスカラ、是ハ預金部ニ對シテ返シテ參リマス、サウ云フヤウナ働キヲ致シタイト存ジマス、ソレカラ先刻合同問題ニ付テ色々御話ガゴザイマシタガ、ソレハ政府ノ産業政策ノコトデゴザイマスノデ私ヨリ何トモ申上ゲ兼ネマスガ、併シ私ノ承知イタシテ居リマス所デハ、新聞ニハ色々書イテ居リマスガ、非常ニ困難ガアツテ斷念シタト云フコトヲ書イテ居リマスガ、何セ此問題ハ御承知ノヤウニ以前カラノ長イ懸案ノ問題デゴザイマシテ、之ヲ十分ニ熟セシメル爲ニハ色々ノ調査準備モ要リマスノデ、ナカナカ進ミ兼ネテ居リマシヤウニ思ヒマス、ソレデ或ハ此議會ヘノ提案モ如何ト考ヘマスガ、サウナリマシテモ、ソレハ色々ヤツテ見テ困難デアルカラ政府ハ之ヲ抛棄スルト云フ意味デナクシテ、マダ色々準備

ヲシ調査モシナケレバナラヌコトガアルカ
 ラト云フノデ、延バサレル意味ノモノデハ
 ナイカト私ハ存ジテ居リマスガ、所デ此改
 正ハソレトハ實ハ關係ハナイノデス、今申
 上ゲマシタヤウニ段々ヤッテ參リマシテ、若
 シ今後更ニ仕事ノ生産ト販賣ノ都合ガ悪ク
 ナツタ時ニハ、私共ノ仕事ヲ當テニシテ色々
 ノ品物ヲ供給イタシテ居リマス者、又澤山
 ノ人が働イテ居リマス者ニ支拂上支障ガナ
 イヤウニ致シタイ、斯ウ云フ點カラ出發イ
 クシマシタノデ、別段合同問題ノ實現如何
 トハ關係ガナイモノトシテ立案ヲシ提案ヲ
 致シテ居リマス、尙ホ此合同問題ガ急速ニ
 運ビマシテ、此議會ニ提案シ決定ニナリマ
 シタト致シマシテモ、之ヲ實現スル爲ニハ
 相當ノ時日ヲ要シマスカラ、其點ハ一應此
 案ヲ立案シマス時ニ考ヘマシタガ、何レニ
 シマシテモ此事業ヲ續ケテ行ク爲ニハ、少
 クトモ千万圓位ノ増額ヲ願フテ置カナケレ
 バ、六年度ニ於テモ支障ヲ來スコトガアッテ
 ハ相濟マヌト考ヘマシテ起案ヲ致シマシタ
 次第デゴザイマスカラ、御諒承ヲ願フテ置キ
 マス

運轉モ出來ナイカラ是ハドウシテモ資金ガ
 要ル、其要ルモノヲ見込シテ千万圓……、
 斯ウ云フノデアラウト私ハ思ヒマスガ、サ
 ウデゴザイマスガ、サウシテ是マデ此借入
 ヲ爲サルノハ、政府ノ金ヲ、所謂郵便貯金
 ナリ、何ナリ政府ノ集メテ居ル金ヲ政府カ
 ラ御借リニナルノデアアルカ或ハ民間ノ銀行
 デ御借リニナツテ居ルノデアアルカ、是ハドチ
 ラデゴザイマスガ、先刻承レバ利率ハ相當
 高イヤウニ思フデスガ、隨分大キナ金デア
 ルカラ……ソレカラ此損益ノ計算、即チ現
 在デハ赤棒ガ出テ居リマスカドウデアリマ
 スカ、ソレ等モ一ツ承リタイ、ソレカラ相
 變ラズ原料ハ大冶カラ來、或ハ朝鮮カラモ
 來ルノデアラウト思ヒマス、内地産モゴザ
 イマセウト思ヒマスガ、銑鐵モ確カヤッテ御
 出ニナルグラウト思ヒマス、サウスルト砂
 鐵、鐵塊ト云フヤウナモノガゴザイマセウ
 ガ、ソレラハ内地原料ト云フモノハ今ハド
 ウ云フヤウニナツテ居リマスルカ、是モ伺ヘ
 レバ伺ヒタイ

ラレル利率ガ五分五厘ニナツテ居リマスカ
 ラ、其率ニ從フテ借リテ居リマス、今後モ必
 要ガアレバ預金部カラ借リル積リテ私共ハ
 考ヘテ居リマス、ソレカラ今日迄ノ此會計
 法改正以來ノ損益ノ計算ハ、昨日御手許ニ
 差上ゲ置イタト存ジマスガ、二年度カラ此
 法律ヲ施行致シマシテ、二年度ニ五百三十
 三萬餘圓益ガアリマス、三年度ニ千五百四
 十二萬圓餘ノ益ニナツテ居リマス、四年度ノ
 決算ハ九百四十六萬圓ノ益ヲ擧ゲテ居ルノ
 デゴザイマス、ソレデ五年度ハ只今進行中
 デゴザイマスガ、斯ウ云フヤウナ不況ニナ
 リマシテ、格別ノ益ヲ擧ゲルコトハ困難デ
 ハナイカト私共考ヘテ居リマス、ソレカラ
 尙ホ只今借入レマスガ、是ハ常ニソレダケ
 ノ品物ハ手持品トシテ在ルノデゴザイマス
 カラ、其點ハ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、
 ソレカラ鑛石ノ供給ノ關係モ昨日材料ヲ差
 上ゲマシタ中ニ大體ノコトヲ認メマシテ御
 目ニ掛ケテ置キマシタノデゴザイマスガ、
 只今デハ南洋ノ馬來半島カラ一番多ク參
 テ居リマス、此所デ使ヒマス半數以上ノモ
 ノヲ馬來半島カラ供給ヲ受ケマシテ、其次
 ノ支那カラハ大體四ヶ所カラ參テ居リマ
 シテ、全體デ六十萬噸餘ノモノヲ支那カラ
 取ツテ居リマス、其餘ハ朝鮮カラ二十萬噸餘

ノ鑛石ヲ取ツテ居リマス、ソレデ私共ノ方ト
 シテハサウ云フ供給ヲ受ケテ仕事ヲスルノ
 ガ採算上都合ガ好クナツテ居リマスガ、併シ
 民間ノ製鐵所デハ、例ヘバ巖手縣ノ釜石鑛
 山ノ如キハ大部分ハ釜石ノ鑛石ヲ使ツテ居リ
 マス、ソレカラ北海道ノ輪西ノ製鐵所モ北海
 道ノ鑛石ヲ大部分使ツテ居ルノデゴザイマス、
 ソレデ八幡ト致シマシテハ、外國カラ取りマ
 シタ方が却ツテ船運ビマスカラ、廉ク付キ
 マス、殊ニ馬來半島ノ方ハ是ハ外國デゴザ
 イマスケレドモ、日本人ガ完全ニ鑛業權ヲ
 有ツテ居リマシテ、此方ニハ製鐵所カラ只今
 デハ資金ヲ貸シテアリマシテ極ク圓滑ニ供
 給ヲ受ケツ、アリマサヤウナ次第デ、今日
 ノ所一年以上ノ貯藏モゴザイマスシ、原
 料ノ點ニ付テハ只今ノ所何ノ懸念モナク仕
 事ヲ致シテ居ルノデアリマス

○男爵長基連君 製鐵所ノ運轉資金ノ内譯
 ヲ伺ヒタイノデスガ、二三日ノ中ニ内譯ヲ
 知ルコトガ出來マセウカ、何年度、何年度
 ト或ル期マデ宜シウゴザイマスガ……

○政府委員(中井勵作君) 是ハ先刻モ申上
 ゲマシタヤウニ只今ノ會計法ニ改メマシタ
 ノハ大正十五年デゴザイマスノデ、ソレデ
 昭和二年度カラ施行サレテ居ルノデゴザイ
 マスカラ、其當時ハ五千五百万圓ノ運轉資

○高橋琢也君

サウスルト現在既ニ六千万
 圓ハ使テシマツテ居ル、マダ此年度モ一箇
 月ハ殘ツテ居ル、然ルニ資金ガナケレバ何ノ

金ヲ借入レテ居リマシタガ、其前ニ、ズット以前ニ成立ノ際ニ四百五十万圓ダケハ此事業ノ運轉資金トシテ國庫カラ支出サレテ居リマス、ソレガ元ニナリマシテ其後作業會計時代ニ於テ九千八百万圓マデ國庫カラ借入レルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマシタノヲ、大正十五年、昭和二年ノ頃ハ五千五百万圓借入レテ居リマシタノデアリマス、ソレカラ昭和三年度及四年度ハ其五千五百万圓ヲ一旦返シマシテ、サウシテ預金部カラ五分五厘ノ利率デ三千五百万圓ダケ借入レマシテ、サウシテ二箇年ハソレデ済マセマシテ、サウシテ五年度ノ初メカラズト殖エテ參リマシテ最近ニ六千万圓限度マデ預金部カラ借入レテ居リマス、斯ウ云フ經過ニナッテ居リマス

○男爵長基連君 私ノ伺ヒタイノハ、製鐵所ノ現狀特別會計ト書イテアリマスガ、此資産狀況、固定財産、運轉資産、資本勘定六千二百五十万幾ラト云フモノノ内譯デアリマス、何ニ幾ラ、何ニ幾ラ、ソレハ御分リニナラヌモノデスカ、如何ナモノデスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 此運轉資金ハ、唯金トシテ運轉資金トシテ此會計ノ制度上アリマスノデ、其見返リニ此品ガアル譯デアリマス、ソレデ製品、原料、材料、色々

ノ「スチール」ソレカラ「ピツグ」モアリマスシ、石炭「オワー」ト云フヤウナモノガ大體見返リニナッテ居リマス、唯其見返リノ品物ヲ皆集メマシテモ、其下ノ運轉資金額ニハピツタリ參リマセヌ、ト申シマスノハ製鐵所ノ方デ益金ガ生ジテ來ル、其益金ヲ固定資産ニ致シマセヌ、ソレデ工場ヲ増ストカ、サウ云フモノニ使ヒマセヌ場合ニハ、矢張り其現金ト云フモノハ、益金ハ現金トナッテ製鐵所内ニ殘テ居リマス、ソレヲ合セテ矢張り此「ストック」ニ用ヒルシ原料モ買入レルト云フコトニナッテ居リマスカラ、直接ニハピツタリト參リマセヌデスカ、サウ云フ風ニ上下全體ニ對シマシテ結局出マスノデ、今暗記イタシテ居リマセヌガ、運轉資金以外ニ或ハ二千万圓近イモノガ尙ホ「ストック」材料、原料ト云フモノニ用ヒルヤウナ今狀態ニナッテ居リマス

○男爵長基連君 此一千万圓御増加ニナラレルト云フコトニ付テ、ソレガ宜イカ悪イカト云フコトヲ判斷スル爲ニ原料ニ幾ラ要ル、ソレカラ製品ノ「ストック」品物ニナッテ居ルモノニ幾ラ掛テ居ル、或ハ勞働賃銀、サウ云フモノニ幾ラ、ト云フコトノ大體ガ分ラナイト判斷ガ付カナイト思フ、ソレデ兎ニ角茲ニ斯ウ云フ數字ガ出ルノデアリマ

スカラ、此數字ヲ原料ニハ此中幾ラ、ソレカラ製品幾ラ、勞働賃銀幾ラ、或ハ又其外ニ運轉資金トシテサウ云フモノニナッテ居ナイ金モアルドラウト思ヒマス、サウ云フモノノ内譯ヲ伺ヒタイ、此御調査ハ昭和五年度首ト書イテアリマスガ、出來ルナラバ四年度、三年度ト云フモノノ比較ヲ見タイト思ヒマスガ、サウ云フ材料ハ提供シテ戴ク譯ニ行カナイモノデスカ

○政府委員(中井勵作君) 只今大藏省ノ政府委員カラ話シマシタヤウニ運轉資金ガ借入レテアリマス、ソレニ見返リノ品物ハソレ以上ニアリマスノデゴザイマスガ、ソレデヤドウ云フ品物ガアルカト云フコトニナリマス、此昭和五年度ノ始メニアリマスモノハ流動資金トシテハ鑛石ガ千三百九十九万圓、地金ガ九百万圓、ソレカラ生産品ガ二千四百八十四万圓、仕掛品ガ二十五万圓ト云フヤウナ、其他器具、備品ト云フヤウニ此六千万圓ノ内譯ハ詳細ニ申上ゲマスレバ細カイ數字ニナリマス、重モノモノハ今申上ゲマシタヤウナ數字デアリマス、ソレカラ六年度ノ豫定ト致シマシテハ別段運轉資金ヲ増シマシテサウシテ六年度ニ使ヒマスル以上ノ品物ヲ買入レテ貯藏シヤウト云フヤウナ趣旨デハナイノデゴザイマス、

ソレガ今日此運轉資金ノ限度マデ借入レマシテサウシテソレヲ相當スル原料、生産品ガ此處ニゴザイマシテ、今日ハモウ一パイニ借入レテ居リマスルケレドモ、毎日々々製品ハ賣レテ參リマス、其收入ガアリマスノデソレデ今日ハ動イテ居リマスノデアリマス、今後ニ於テモ成ルベク借入レナイデ動カシテ參リタイト思ヒマスガ、又是以上ニ運轉ガ悪クナッタ時ニハ困リマスカラソコデ借入レヲシヤウト云フスウ云フ趣旨デゴザイマスガ、別段一千万圓ヲ以テマシテドレダケノ品物ヲ餘分ニ買入レ、ドレダケノ支拂ヲ餘分ニシヤウト云フノデハナイノデアリマスカラ、ソレデ全體ソレデヤ何故一千万圓ト云フモノヲ何カラ割出シタカト云フコトニナリマス、是ハ大體ノ見當カラ致シマシテ六年度ノ收入豫算ガ一億二百万圓ニナッテ居リマス、其一割ノ一千万圓位ヲ増シテ置イタナラバ其範圍内デ支障ガナクヤッテ行ケハシナイカト云フヤウナコトデ、正確ナ數字上ノ根據ニ基イタノデハナイノデアリマス

○男爵長基連君 今ノ御説明デ一部ハ分リマシタノデスカ、運轉資産ガドウ云フ形ニナッテ居ルカト云フコトヲ知ルコトガ最モ必要ナコトト思ヒマスガ、出來マスルナラ

パーツニ三年ノ比較ヲ見タイト思フノデア
リマス、原礦ノ「ストック」ニ幾ラ、ソレカラ
製品ノ「ストック」ニ幾ラト云フヤウナ風ニ區
分ガ御出來ニナルヤウニ私ハ思ヒマスガ、
若シモ出來ルモノデシタラ其表ヲ拜見イタ
シタイト思ヒマス

ノ事務的ノコトハ十分ニ詳シイコトハ存ジ
マセヌ、幸ニ會計課長ガ政府委員デスカラ、
會計課長カラ今日マデノ關係全部ヲ詳細ニ
申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

立替テ貫ッテ居リマスルカラ、後ニ百五十四
万八千七百六十圓ヲ官立大學特別會計カラ
一般會計ヘ返却スル、詰リ一般會計ニ繰入
レルコトニナッテ居タノデアリマス、所ガ
財政上ノ色ミノ關係カラ、移轉改策ハ昭和
九年度マデ四箇年延長スルノ已ムナキニ
至タノデアリマス、ソレト同時ニ經費ノ節
約カラ致シマシテ、前ノ金ダケヲ使フコト
ガ出來ナクナル、從テソレダケノ金ヲ返ス
必要ガナクナッタノデアリマス、即チ其一
方ニ於テハ年度ヲ延長スル爲ニ字句ヲ訂正ス
ル必要ガアリ、又一方ニ於キマシテハ資金
ヲ官立大學特別會計カラ一般會計ニ繰入レ
マスル金額ヲ減少スル必要ガアリマスノ
デ、其二點ニ付キマシテ改正ノ法律案ヲ御
協贊ヲ願フコトニナッタ次第デアリマス、ソ
レカラ京都高等工藝學校ノ移轉改策費ニ關
スル法律案モ矢張り同様ノ關係デアリマシ
テ、即チ京都高等工藝學校ガ京都市ノ都市
計畫ノ關係上下ウシテモ移轉シナクテハナ
ラヌ状態ニナリマシタノデアリマスカラ、
移轉スル爲ニ先ヅ一般會計デ費用ヲ立替ヘ
テ貫ッテ、其後ニ現在ノ土地ノ賣却、建物ノ
賣却等ノ結果其費用ヲ後デ一般會計ヘ返却
スル爲ニ法律案ガ出テ居タノデアリマス、
所ガ財界ノ不況其他ノ關係上、初メノ京都

ノ高等工藝學校ノ移轉改策ガ、本年ノ三月
末日迄ニ完了スルノデアリマスカラ、完了
スル迄ニソレヲ返スコトガ出來ナクッタノ
デアリマス、アト三ヶ年延長シテ昭和九年
迄ニ返却スルコトニ致シタノデアリマス、
其關係上法律ノ改正案ヲ提案イタシタ次第
デアリマス、念ノ爲ニ申添ヘテ置キマスル
ガ、大學特別會計法並ニ學校圖書館特別會
計法ニ於キマシテハ、資金ハ唯使消スルコ
トガ出來ナイノデアリマス、法律ノ改正ガ
ナイト一般會計ニ繰入レルコトガ出來マセ
ヌカラ、此兩方ノ法律ガ現在成立シテ居リ
マスシ、又改正案ヲ御協贊ヲ願フ次第デア
リマス

○高橋琢也君 丁度文部ノ政務次官ガ御見
エニナッテ居リマスルシ、又此頃豫算等デ御
多忙中デアラウト存ジマスル、此際製鐵所ノ
方ハ大藏省モ勿論關係ガアリマスカラ、必
要ガアラウト思ヒマスガ、京都ノ高等工藝
學校移轉改策費ニ係ルモノト、サウシテ神
戶ノ……此案デハ昭和四年法律第二十六號
中改正法律案、斯ウナッテ居リマス、此兩案ニ
付キ、私ハ餘リヤカマシイ問題デハナイ簡
單ニ伺ヘバ、伺テ宜シイノデアリマス、寧
ろ此コトニ詳シイ政務次官カラ少シ綿密
ニ……綿密ニト言ッテモ詳シイモノハ要リ
マセヌ、我ミノ頭ニ這入ル位ノ程度デ御説
明ヲ戴イタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、皆サ
ンドウデスカ

○政府委員(河原春作君) 此二ツノ法律案
ハ一ツハ神戸商業大學ノ移轉改策費ニ關ス
ル法律案デアリマスシ、一ツハ京都高等工
藝學校ノ移轉改策費ニ關スル法律案デアリマ
ス、此二ツトモ、實ハ現行ノ法律デアリマ
シテ其内容ニ多少ノ變更ヲ加ヘル必要ガア
リマスノデ、兩法律案ノ改正案ノ御協贊ヲ
願フコトニナッタノデアリマス、第一ノ神戸
ノ商業大學移轉改策費ニ關スル法律案ハ、
元神戸高等商業學校ガ現在居リマスル土地
ガ狭イモノデアリマスカラ、初メカラ移轉
スル計畫ガアッタモノデゴザイマス、ソレガ
御承知ノヤウニ、其後神戸ノ商業大學ト組
織ヲ變更イタシマシタノデアリマス、ソレ
デ初メハ神戸高等商業學校ノ移轉改策ニ關
スル法律案トシテ御協贊ヲ願ッテ居、タノデ
アリマス、ソレガ昭和四年度ニ現在ノヤウ
ナ法律ニ改マッタノデアリマス、其現行ノ昭
和四年ノ法律第二十六號ニ依リマスルト、
移轉改策ハ、昭和五年度デ完成スル豫定ニ
ナッテ居、タノデアリマス、ソレト同時ニ其
改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

○高橋琢也君 サウシマスルト此昭和四年
法律第二十六號ト云フモノハ、昭和三年度ニ
於テ既ニ施行シタモノデアアル、元ノ神戸商
業學校移轉改策費ノ經費モ、既ニ昭和三年
度ニ使ッテシマッタ金デアアル、ソレカラ昭和
四年度乃至九年度ニ互リ施行スル神戸商業
大學ノ移轉改策ノ經費ニ付テ流用シタル金
額ヲ補填シ、又ハ其經費ニ充當スルトゴザ
イマシテ、ソレハ昭和十一年度迄ニ今御話
ノアリマシタ百三十六万四千百十六圓、是
ダケヲ一般會計ニ繰入レルモノダ、斯ウ云
フヤウナ御話デアリマス、是ハ大藏省ノ政

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

○政府委員(野村嘉六君) 只今高橋サンカ
ラ私ニ神戸大學ト京都ノ高等工藝學校關係
ニ付テ、會計關係、此法律提案ノ關係ヲ述
ベロト云フコトデスガ、實ハ私モ豫算關係

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

改策費ニ要シマスル經費ヲ一般會計ニ於テ

府委員ニ御尋ネスル方宜イカモ知レマセ
ヌガ、ドナラカラ御決メ下サテモ宜シイ
昭和三年ニ施行シタ分ノモノハ既ニ決テ
シマッタ金ノヤウニ思ヘル、其決テシマッタ
經費ト云フモノハ特別會計デ疾クニ收支決
算モ出來テシマツテ、政府ノ報告モ濟ンデ
居リ、檢査院ノ調べモ濟ンデ居ルモノデア
ラウト思ヘル、或ハ四年度モサウヂヤナイ
カ、然ルニ四年度カラ九年度ニ至ル迄ニ施
行スルト云フノデアツテ、サウシテ四年度カ
ラ九年度迄ノモノハ繼續事業ニデモナツテ
居テ、サウシテ其間ノモノハドナラニ伸シテモ
縮メテモ大事ナイ、斯ウ云フヤウナコトデア
ルノデスカ、ソレカラ今一ツハ今回ノ財政
緊縮ノ結果、此中ノ資金ト云フモノヲ繰延
若クハ節約ヲシタノデアアルノデスカ、今御
説明ニ依ツテ聽クト、借リタ金デアアルカラ、
一般會計カラ借リタ金デアアルカラ、サウス
ルト金主ガ其方ヘ貸シタ金ダカラ、是ハ俺
ノ方ノ會計ノ繩張りニ入レナケレバナラヌ
ノダ、斯ウ云フヤウナ意味デ否應ナシニ大
藏省ノ方ヘ取ラレルト云フヤウナコトデア
ルノデスカ、チヨット私ニハ此意味ガ能ク分
ラヌノデスカ、既ニ支拂濟ノモノト、ソレ
カラ將來拂ハウト云フモノト、繼續事業デ
アルヤ否ヤ、無論繼續事業デナイカト思フ

ノデスケレドモ、是モ確カト分カラナイ、
片方ハ大正十五年度カラ昭和五年度ニ互
テ施行シタ、是モモウ既ニ昭和五年度マデ
ニヤツテシマッタノデスカ、即チ京都高等工藝
學校ノ移轉改築ノ經費デアアル、之ニ充用シ
タル經費ノ金額ヲ補填スル爲メ、サウスル
ト更ニ之ニ補填スル爲ニ百六十万圓ト云フ
モノガ要ルノデ、ソレダケハ一般會計ノ御
世話ニナラナケレバナラヌト云フノデスカ、
金ハアレガソレヲ……學校ノ方ニ金ハ
アルケレドモ、是ハ一般會計ニ入レテ貰
方便利デアアルカラ、或ハ大藏省トシテ取
扱ニ便利デアアルカラ、此方ヘ入レルノデア
ル、茲ニハ何等ノ必要ト云フコトモナシ、
又是等ノ利害ト云フ事柄モ此法文ノ上デハ
見エマセヌカラ、是ハ大藏省ノ政府委員カ
ラデモ宜シイ、チヨット分ルヤウニ御答辯ヲ
戴キタイ、何方カラデモ宜シウゴザイマ
ス

○政府委員(賀屋興宣君) 便宜上私ノ方カ

ラ一應申上ゲマシテ、尙ホ不足ナ所ハ文部
省ノ政府委員カラ補足イタシタイト思ヒマ
ス、此神戸ノ商科大學ノ方カラ先キニ申上
ゲマス、是ハ元々神戸ノ高等商業學校ヲ脇
ニ移轉スル、移轉イタシマシタ方ガ土地ノ
利用ノ上カラ見マシテモ工合ガ宜シイノ

デ、新シク脇ニ土地ヲ買テ其處ニ移轉ス
ル、其財源ハ何カト申シマスルト云フト、
元ノ土地ヲ賣レバ是ハ收入ノ多イ土地デア
ル、ソレデ新シイ土地ヲ買ヒ尙ホ新廳舎ガ
建築出來ル、學校トシテ、サウ繁華ナ所ヲ
望ム必要ハアリマセヌカラ、サウ云フ積リ
デ出來マシタ、所ガ神戸ノ高等商業學校ガ
商業大學ニ昇格イタシマシタ、元々專門學
校デアリマスルト云フト、既ニ其建築費ノ豫
算ハ一般會計ニ於テヤル、一般會計ノ支辨
ニ致シマス、唯、只今申上ゲマシタヤウナ
國有財産ノ整理ノヤウナ意味モ加味シテ居
リマスカラ、ソレヲ賣拂ヒマシテ、ソレヲ
一般會計ニ繰入レマス、商業大學ニ昇格イ
タシマス、ト大學ノ特別會計法ガ適用ニナリ
マシテ、關係ガ違テ參リマス、營繕ト云フ
コトハ皆特別會計ノ經費デアアルコトニナリ
マス、所ガ是ハ元々一般會計デヤリ出シタ
モノデアアル、ソレヲ又中ニ移シテヤルト云
フノモ色々實狀ニ於テ工合ガ惡イ所ガアリ
マスノデ、是ハ其儘一般會計デアアル、併ナ
ガラ是ハ元々土地ヲ賣タ代金デ建築費ヲ
支辨スルト云フ計畫デアリマス、ソレガ大
學ニ移リマスルト云フト、賣タ土地代ハ何ニ
這入ルカトフト會計法デ以テ大學ノ資金ト
云フモノニ這入リマス、ソレカラ這入タ

分ハ資金ニナリマスカラ、其資金ヲ一般會
計ヘ入レルヤウニシテヤレバ、色々道ハ廻
リマスケレドモ結果ハ初メノ通りノコトニ
ナリマス、サウ云フヤウナ法律ヲ、前ニ御
協贊ヲ願ヒマシタノデアリマス、矢張り是
ト同ジヤウナ法律ガ出來テ居リマス、大學
ノ資金ノ中カラ此金ヲ補填スル、建築トシ
テハ土地代デアルト云フ關係ハ此前カラサ
ウナツテ居リマス、所ガ今度ハ文部省ノ政府
委員カラ御説明ガアリマシタヤウニ、其關
係ハ少シモ變ラナイノデアリマスルガ、是
ハ繼續事業デアリマス、御尋ノヤウニ繼續
事業デアリマシテ、此繼續費ハ是ハ財政ノ
關係カラ延ビマシタモノガ一ツ、ソレカラ
土地ノ購入等モナカク思フヤウニ抄ラナ
イ、色々都合デ延ビマシテ、其上ニ又緊
縮、同時ニ物價モ下リマシタカラ工費モ減
サウ、工費ヲ減シマスルト云フト元ノ法律ニ
掲ゲテ居リマス金額ダケ入レテハ多過ギル、
ソレヲ減シマシタ金額ダケハ元ノ法律カラ
減ス、又年度モ違ヒマシタカラ年度モ延バ
シ、尙ホ是モ元ノ土地ヲ賣テ拂フト云フ
コトニナツテ居リマスカラ、其便宜モ考ヘマ
シテ、學校工事ハ昭和九年度デ一應終ル管
デアリマスガ、金ハ十一年度迄ニ入レテ宜
シイ、斯ウ云フ風ニ致シマシタ、其中デ此

昭和三年度ニ使ツタモノガアルドラウト云フ御話、ソレハゴザイマスガ、決算で見マスト僅カ九百十六圓デゴザイマス、當初ノ豫算デハ、モット餘計使フ積リデアリマシテ、豫算額ハ三十五万五千五百圓ニナッテ居リマスガ、實際ハ其土地ハ買ヒマセヌノデ極ク一部分ノ事務費ヲ使ヒマシタバカリデ、是ハ決算ハ済ンデ居リマス、済ンデ居リマスガ、此決算ハ本當ハソレダケノモノガ太學ノ資金ノ方カラ一般會計ノ方ハ這入ッテ來テ、ソレデ支辨スル管デアッタモノガ、向ウカラ這入りマセヌモノデスカラ、俗ニ謂ハバ立替ノ形デ決済ガ済ンデ居ル、サウ云フ済ンダモノデアリマスガ、形カラ云ハバ過去ニ使ツタモノヲ補填スルト云フコトニナリマスカラ、此補填ト云フモノハ書カナイデモ宜シイノデゴザイマスケレドモ、過去ニ使ツタモノデ立替ニナッテ居ルカラ之ヲ補填シテ貰ヒタイ、尙ホ將來要ル工事費モ是ニ繰入レテ貰フ、斯ウ云フ積リニナッテ居リマス、神戸ノ方ハ大體ソレト致シマシテ、京都高等工藝學校デゴザイマスガ、此方ハ唯今モ御話ガアリマシタヤウニ、モウ建築ハ此五年度ヲ以テ完了イタス管デアリマス、モウ殆ド終リニ近ヅイテ居リマス、是ハ大正十四年度カラ五年度ニ互ッテ執行イ

タシタノデアリマスガ、是ハ其金額ト云フモノガ學校ノ資金ノ方カラ一般會計ノ方ヘ這入りマシテ、ソレデ建テル管、所ガ資金ノ方ハ土地ノ賣レ行キガ遅イ爲ニ、土地ヲ賣ツタノ財源ニシヤウト云フ試ミデアッタ爲ニ、其實レルノガ遅カッタ爲ニ這入りマセヌ、是モ所謂俗ニ云フ立替ノ實質ニナッテ居リマシテ、併シ其儘デ行キマスト結局財政計畫上資金建テルモノガ、一般會計ノ方ノ財源ノ負擔ニナッテ參リマシテ、計畫ガ狂ッテ參リマスルカラ、其立替ニ相當スル金ダケヲアトデ入レテ貰ヒタイト云フノデアリマス、何故此法律ヲアトデ出スカト云フト、是ハ財源ハ其年ミデ歳出ニ充テルコトニナッテ居ル、形式ハ普通一般財源デ充テテ居リマスカラ、過去ニ充テタモノヲ補填スル爲メト云フノニ、是ハ極ク几帳面ニ書キマシテ、態、法律ヲ出シマシタノデ、昨年……、今度此法律ヲ出シマス爲ニ廢シマス前ノ法律ト同ジヤウナモノヲ出シマシタニ過ギマセヌ

○政府委員(賀屋興宣君) 是ハ其專門學校ノ、御承知ノヤウニ特別會計ガアリマシテ、其資金ニ此百六十万圓ト云フモノヲ一時ニ繰入レナイ方ガ都合ガ宜シイ、資金ノ方ノ金ノ都合デ以テ是ハ三箇年間ニ割ル方ガ便利ナリト云フ話デアリマス、其爲ニ三箇年ト云フコトニ致シタ次第デアリマス

○男爵長基連君 今ノ御話デアリマス、資金ノ方ノ金ノ關係上、便宜デアルト仰シヤイマスガ、ソコノ所ハ私ヨク了解シマセヌガ、金ガ無イノデアリマスガ、便宜ト云フコトハドウ云フ意味デスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 此位ノ金ハ專門學校ノ方デハアリマス、併シ資金トシテ持ッテ居リマスレバ、利息モ入りマス、一遍ニ拂ッテシマウト、其後ノ利息ハ取レナイト云フコトニナリマスカラ、一般會計ノ方デ我慢サヘ出來レバ、專門學校ノ方デハ割ッテ入レタ方ガ便利ダ、一般會計ノ方モ一年位入レテ貰ヘバ、サウ一度ニ入レテ貰ハナイデモ今ノ處都合ガ付キマスモノデスカラ、ソレデ專門學校ノ會計ノ便利ナ方ニ從ヒマシタ

○委員長(侯爵西郷從德君) 如何デセウカ、御質問ノ切リノ所デ今日ハ切上ゲテハ……

○高橋琢也君 結構デス

○子爵大河内輝耕君 異議ナシ

○委員長(侯爵西郷從德君) ソレデハ左様イタシマス

午後三時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵西郷 從德君

副委員長 子爵大河内輝耕君

委員

子爵綾小路 護君

眞野 文二君

男爵長 基連君

高橋 琢也君

馬越 恭平君

田村駒治郎君

川崎 卓吉君

黒崎 定三君

小川郷太郎君

富田勇太郎君

大久保偵次君

關原 忠三君

賀屋 興宣君

野村 嘉六君

河原 春作君

長崎榮十郎君

中井 勵作君

大橋 八郎君

法制局長官

法制局參事官

大藏政務次官

大藏省理財局長

大藏省銀行局長

大藏書記官

同

文部政務次官

文部書記官

商工書記官

製鐵所長官

遞信省經理局長